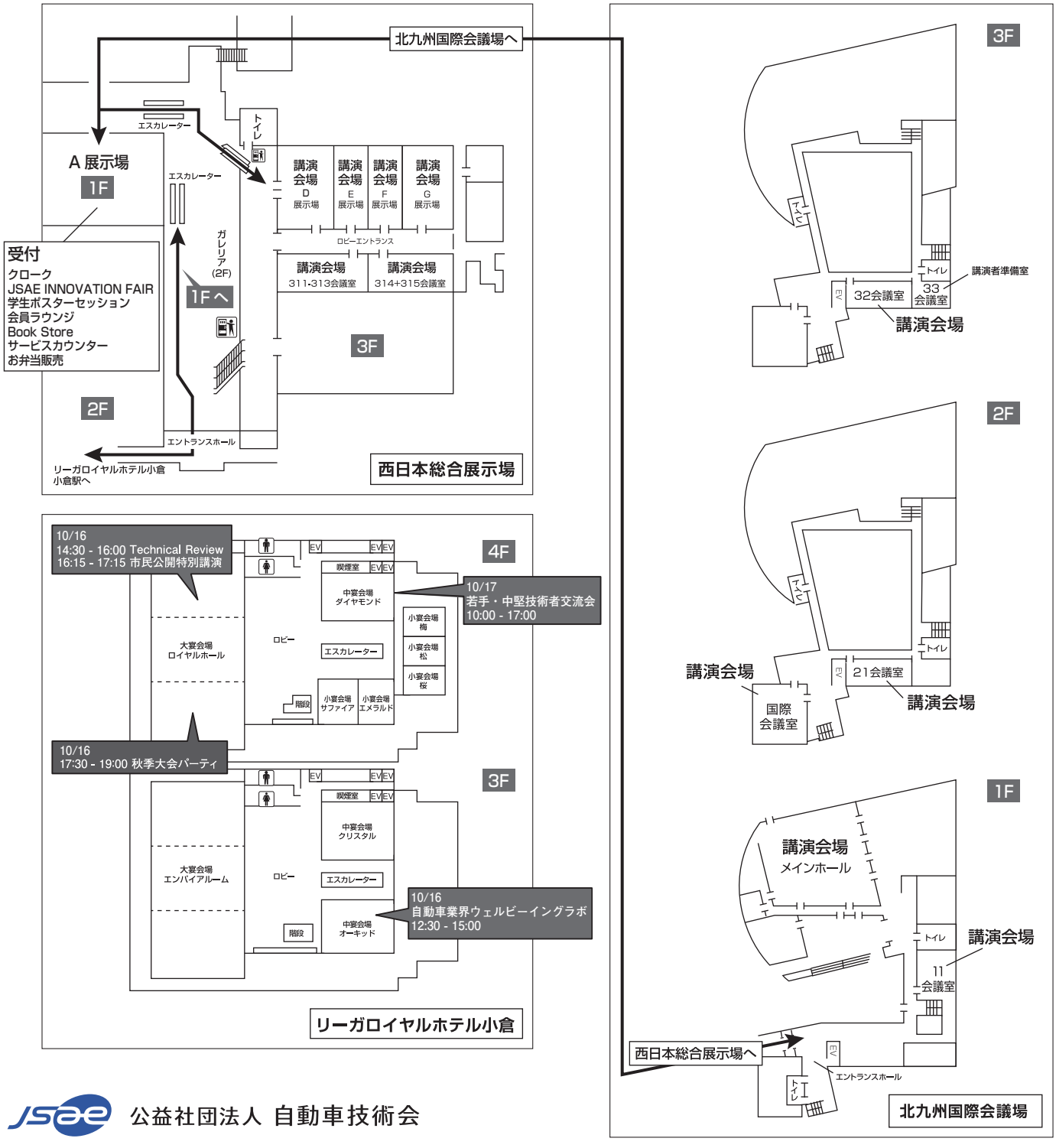
2025年 秋季大会

ファイナルプログラム

会期：2025年10月15日(水)～17日(金)
会場：北九州国際会議場，西日本総合展示場，
　　リーガロイヤルホテル小倉
主催：公益社団法人自動車技術会
共催：北九州市
協賛：公益財団法人北九州観光コンベンション協会

会場案内図



公益社団法人 自動車技術会

TOYODENKI

より安全により確実に

～ ADAS 試験のテストベンチ構築に最適 ～

ADAS 試験

操舵対応

タイヤハウスに
納まるサイズ

シャシーダイナモ代替

モード運転

急発進・急ブレーキ可能

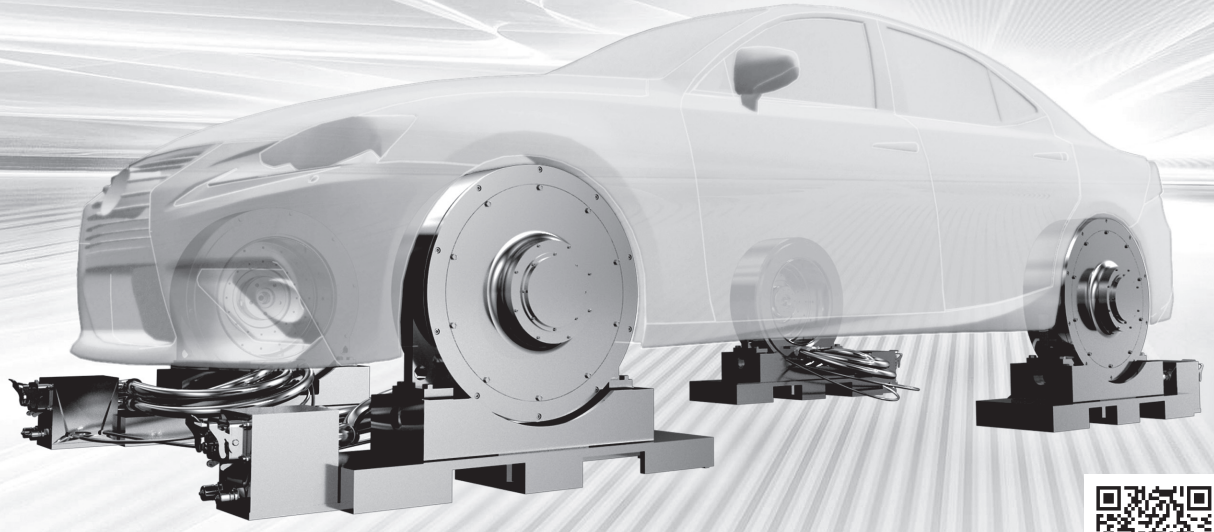
コンパクト

ピット工事不要

2 階や 3 階にも
設置できる

【 インタイヤハウスダイナモ 】

In-Tyre-House Dynamometer



自動車試験システムについて
詳しくはこちら ▶

滋賀竜王製作所にて
トライアル試験受付中

東洋電機製造株式会社

〒103-0028 東京都中央区八重洲1丁目4番16号 東京建物八重洲ビル
産業事業部車両試験システム営業部 TEL:03-5202-8134
https://www.toyodenki.co.jp/

2025年秋季大会

会期：2025年10月15日(水)～17日(金)
会場：北九州国際会議場，西日本総合展示場，リーガロイヤルホテル小倉

2025 年 10 月 15 日

会 員 各 位

公益社団法人自動車技術会
会 長　　中畔　邦雄

2025 年秋季大会を，九州支部の協力を得て，10 月 15 日（水）～ 17 日（金）の 3 日間，北九州国際会議場，西日本総合展示場，リーガロイヤルホテル小倉にて開催いたします．

本大会では，学術講演会（71 セッション，343 講演），Technical Review，九州支部企画の市民公開特別講演，学生ポスターセッションなど多彩なプログラムを予定しております．

また，今回の秋季大会でも展示会「JSAE INNOVATION FAIR 2025」を開催し，大会に参加いただく皆様と出展企業・団体との交流の場を提供いたします．

皆様のご参加を心よりお待ちしております．

目　次

大会概要・各窓口の開設時間…… 2,3
各イベントのご案内…… 4-6
タイムテーブル 10月15日(水)…… 8,9
タイムテーブル 10月16日(木)……10,11
タイムテーブル 10月17日(金)……12,13
学術講演会プログラム 10月15日(水)……14-20
学術講演会プログラム 10月16日(木)……21-24
学術講演会プログラム 10月17日(金)……24-30

2025年秋季大会概要

催事名	実施方法	参加登録／参加費	15 日 (水)	16 日 (木)	17 日 (金)
① 学術講演会	実地+後日録画配信	要／有料 ※参加資格により参加費が異なります	●	●	●
② ランチョンセミナー	実地	要／無料 ※学術講演会参加者が対象です	●		●
③ Technical Review	実地	要／無料		●	
④ 市民公開特別講演	実地	要／無料		●	
⑤ 秋季大会パーティ（技術者交流会）	実地	要／有料 ※参加資格により参加費が異なります		●	
⑥ 第 10 回学生ポスターセッション	実地	要／無料	●	●	●
⑦ 自動車業界ウェルビーイングラボ	実地	要／無料		●	
⑧ 第 7 回若手・中堅技術者交流会	実地	要／無料			●
⑨ JSAE INNOVATION FAIR 2025 （秋季大会展示会）	実地	要／無料	●	●	●

※②, ③, ④, ⑨の催事は学術講演会参加者向けの催事になります.

2025 年秋季大会ウェブサイト https://www.jsae.or.jp/taikai/2025aki/

学術講演会について

2025 年秋季大会学術講演会は，春季大会に引き続き実地開催のみで行います.
また，講演者の許可を得た講演は後日録画配信でご視聴いただけます.

①実地会場で聴講される方は，必ず大会ウェブサイトで事前に参加登録を行ってください.
当日会場での受付は行っておりませんのでご注意ください.
②参加登録者の特典は以下のとおりです.
・講演予稿集の閲覧，ダウンロード
・後日録画配信による講演の視聴
③後日録画配信は大会終了後，2 週間を目途に開始し，1 か月間公開いたします.
④配信期間中も参加登録を受け付けます.
参加登録費は①と同額です.
※詳細については，上記の 2025 年秋季大会ウェブサイトをご覧ください.

学術講演会講演予稿集

学術講演会の参加登録費には講演予稿集が含まれます.

入手方法：
電子ファイル形式での提供となります.
聴講者専用ページから「学術講演会」にアクセスいただきダウンロードください.
※聴講者専用ページは参加登録完了時に送信されるメールよりアクセスいただけます.
※予稿集の公開は 10 月 10 日（金）10:00AM を予定しています.

各窓口の開設時間　※表紙会場案内図を参照ください

10月15日(水)

受　付 ・イベント参加 QR 読取	西日本総合展示場 新館 A展示場	8:00～17:00
サービスカウンター	西日本総合展示場 新館 A展示場	8:00～18:00
クローク	西日本総合展示場 新館 A展示場	8:00～18:00
休憩コーナー	西日本総合展示場 新館 A展示場	8:00～18:00
JSAE 会員ラウンジ	西日本総合展示場 新館 A展示場	8:00～18:00
Book Store	西日本総合展示場 新館 A展示場	9:00～18:00

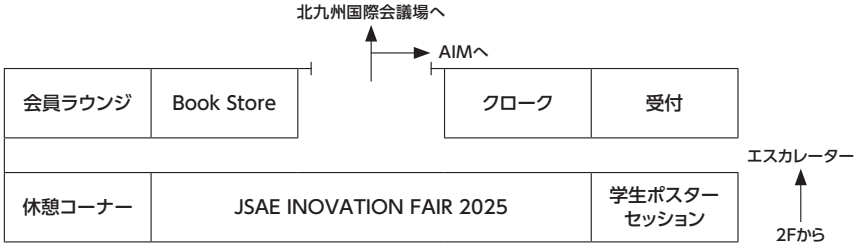
10月16日(木)

受　付 ・イベント参加 QR 読取	西日本総合展示場 新館 A展示場	8:30～14:00
サービスカウンター	西日本総合展示場 新館 A展示場	8:30～14:00
クローク	西日本総合展示場 新館 A展示場	8:30～16:00
休憩コーナー	西日本総合展示場 新館 A展示場	8:30～16:00
JSAE 会員ラウンジ	西日本総合展示場 新館 A展示場	8:30～16:00
Book Store	西日本総合展示場 新館 A展示場	9:00～16:00

10月17日(金)

受　付 ・イベント参加 QR 読取	西日本総合展示場 新館 A展示場	8:30～16:00
サービスカウンター	西日本総合展示場 新館 A展示場	8:30～16:00
クローク	西日本総合展示場 新館 A展示場	8:30～17:30
休憩コーナー	西日本総合展示場 新館 A展示場	8:30～16:00
JSAE 会員ラウンジ	西日本総合展示場 新館 A展示場	8:30～16:00
Book Store	西日本総合展示場 新館 A展示場	9:00～16:00

A展示場マップ



参加者へのご案内

① 学術講演会

有料／参加登録要

10月15日(水)～17日(金)　各講演会場

71 セッション・343 講演　※最新の状況はウェブサイトをご覧ください.
タイムテーブル（随時更新）：http://gakkai-web.net/jsae/a/2025/program

	早期参加登録	通常参加登録
登録期間	**8 月中旬 ～ 10 月 6 日（月）**	10 月 7 日（火）～ 11 月 28 日（金）
登録方法	ウェブサイトより事前登録のみ	ウェブサイトより事前登録のみ
参加登録費 正会員 学生会員 賛助会員・一般	**8,000 円（不課税）** **3,000 円（不課税）** **22,000 円（税込）**	10,000 円（不課税） 3,000 円（不課税） 24,200 円（税込）
支払方法	**①クレジットカード決済** **②銀行振込** **③コンビニ決済**	クレジットカード決済
支払期限日	**①～③すべて 10 月 6 日（月）** ※期限日までに支払が完了しなかった場合，お申込は無効となります	登録時
キャンセル時の返金	**10 月 6 日（月）まで全額返金** ※返金手数料除く	返金なし

※現地での当日参加登録受付は実施いたしません.

② ランチョンセミナー

無料／要参加登録　※学術講演会参加者が対象となります

①プロメテック･ソフトウェア株式会社:10月15日(水)11:20-12:00　西日本総合展示場 AIM3F D展示場

②計測エンジニアリングシステム株式会社:10月17日(金)12:40-13:20　西日本総合展示場 AIM3F D展示場

「JSAE INNOVATION FAIR 2025」からの出張企画として，学術講演会参加者向けに出展社によるセミナーを開催いたします.
※参加申し込みは 10 月 10 日（金）で締め切りとなりました．残席がある場合は開催日当日に，会場にて受付を実施いたします.

<講演詳細>

①プロメテック・ソフトウェア株式会社

流体解析ソフトウェア「Particleworks」最新動向のご紹介

講演者：木村 僚汰 氏（プロメテックソフトウェア株式会社）
Particleworks は，粒子法にとどまらず格子法（LBM, FVM）ソルバーの搭載，DEM との連成機能強化など，その用途を広げております．本講演では Particleworks の最新動向を紹介します.

②計測エンジニアリングシステム株式会社

EV/HEV を支えるパワーデバイス関連技術のシミュレーション

講演者：西澤 伸一 氏（九州大学）
EV/HEV を支えるパワーデバイス周辺技術について，ウェハ技術からパワーデバイス，実装技術の開発の現状を，シミュレーションをキーワードに紹介する.

③ Technical Review

無料／学術講演会登録要

10月16日(木)14:30-16:00　リーガロイヤルホテル小倉 4F ロイヤルホール

SDV でクルマは何が変わるのか？ その課題と半導体技術の貢献

講演① 14:30-15:15

デンソーが考える SDV
- UX から要素技術まで一気通貫な技術開発 -

講演者：丹羽　賢 氏（デンソー）

講演② 15:15-16:00

Safer, Smarter, Greener
SDV を支える TSMC 車載半導体技術

講演者：井深　洋 氏（TSMC ジャパン）

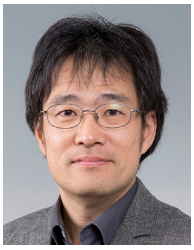
司会：大門　樹 氏（学術講演会運営委員会委員長）
企画：学術講演会運営委員会
※学術講演会に登録いただいている方は別途の登録は不要です.

④ 市民公開特別講演

無料／学術講演会登録要

10月16日(木)16:15-17:15　リーガロイヤルホテル小倉 4F ロイヤルホール

極超音速用エンジンを目指した 30 年余の紆余曲折



講師：富岡　定毅 氏（宇宙航空研究開発機構）

司会：上別府　徹 氏（自動車技術会 九州支部長）
企画：自動車技術会　九州支部
講演要旨：1993 年に航空宇宙技術研究所角田支所に就職した年に，同支所において極超音速エンジンの試験を可能とするラムジェットエンジン試験設備が運用を開始した．以来 30 年余，研究者としての興味から，スクラムジェットエンジンの空力設計についての研究を多く行い，世界レベルの推力性能を発揮したのち，次にはロケットエンジンと組み合わせるロケット複合エンジンの空力設計に着手するも，良いとこ取りを目指しながら悪いとこ取りに陥り，スクラムジェットエンジン研究に回帰，エンジンシステム実証へ進んでいる．一方で地上設備での試験法がエンジン内現象に与える影響に着目した基盤研究にも手を出し，国内最初の極超音速スクラム模型試験を達成した．現在は更にスクラムジェットエンジンとターボジェットエンジンの複合化に関する空力設計に挑んでいる．興味につき動かされた 30 年余の紆余曲折を，中々たどり着けなかった社会実装への思いと併せて紹介する．
※学術講演会に登録いただいている方は別途の登録は不要です.

⑤ 秋季大会パーティ（技術者交流会）

有料／登録要

10月16日(木)17:30-19:00　リーガロイヤルホテル小倉 4F ロイヤルホール

参加費	
正 会 員	8,000 円（税込）
学生会員	3,000 円（税込）
一　　般	10,000 円（税込）

※ 10 月 7 日（火）以降はキャンセル不可となります.

⑥ 第 10 回学生ポスターセッション

無料／登録要 ※ポスターセッションのみご覧いただく場合は現地会場にて受付ください

10月15日(水)～17日(金)　西日本総合展示場 新館 A展示場

https://www.jsae.or.jp/taikai/2025aki/student-poster-entry/
ポスター発表を通じた学生同士，エンジニア・研究者，企業との交流の場，機会を提供します．日頃の取組，研究内容をポスターにまとめ，発表（プレゼンテーション）していただきます．優れた発表には優秀賞を授与いたします．

※ポスター発表申込には有料の学術講演会参加登録が必要です．
企画：学生活動企画委員会

※学術講演会に登録いただいている方は別途の登録は不要です．

⑦ 自動車業界ウェルビーイングラボ by 自動車業界ウェルビーイングラボ委員会

無料／登録要

10月16日(木)12:30-15:00　リーガロイヤルホテル小倉 3F オーキッド

自動車業界における，“ウェルビーイング”について考えてみませんか？

すべての技術者がイキイキと働くために，パネルディスカッションと意見交換を通して，みんなで自動車業界における“ウェルビーイング”を考えます．今回は teams によるオンライン参加も受付中です．

※プログラムの最新内容詳細は当会ホームページ（https://www.jsae.or.jp/assoc/hrd/exchange/woman/）をご確認ください．

⑧ 第 7 回若手・中堅技術者交流会

無料／登録要

10月17日(金)10:00～17:00　リーガロイヤルホテル小倉 4F ダイヤモンド

本交流会は，同業他社や異業種の会員との交流を通じて，自身の価値観との違いに気づいてもらうことを目的としています．
テーマを「企業・世代の枠を超えて，ネットワークを広げよう！」とし，グループディスカッションを行います．

対象：39 歳以下の正会員
企画：総務委員会

※事前申込制となります．既に申込は締め切りとなりました．

⑧ JSAE INNOVATION FAIR 2025（秋季大会展示会）

無料／学術講演会登録要

10月15日(水)～17日(金)　西日本総合展示場 新館 A展示場

「JSAE INNOVATION FAIR」は，自動車業界にとどまらず，情報通信技術やソフトウェアなど，最先端の技術を持つ企業・団体の皆様にも，1 小間単位で気軽にご出展いただける展示イベントです．
本フェアでは，来場者との情報交換や新たなネットワークづくりを応援します．昨年の第 1 回では，出展者・参加者の双方から大きな反響をいただき，大変好評を博しました．
その声にお応えし，「JSAE INNOVATION FAIR 2025」として第 2 回の開催が決定！今年の秋季大会にて，会員ラウンジ・休憩コーナー・学生ポスターセッションと同じ会場内で実施します．

技術の出会い，情報の交差点．
ぜひお気軽にお立ち寄りください！

企画：技術会議
※学術講演会に登録いただいている方は別途の登録は不要です．

〈出展社一覧〉
エースポイントシステムズ株式会社，株式会社大手技研，計測エンジニアリングシステム株式会社，株式会社構造計画研究所，
コンカレント日本株式会社，サンゴバン株式会社，株式会社ソリッドレイ研究所，株式会社テック技販，東亜電気工業株式会社，
東洋電機製造株式会社，株式会社戸畑製作所，トヨタ自動車株式会社，ナイラ・ダイナミクス，株式会社 NeU，
ニュートンワークス株式会社，株式会社ノビテック，パーソルクロステクノロジー株式会社，Virtual Motorsport Lab，
株式会社フィジックステクノロジー，株式会社フォトロン，プロメテック・ソフトウェア株式会社，ベクタージャパン株式会社，
ヘッドアコースティクスジャパン株式会社，株式会社守谷商会

会員特典 !!JSAE 会員ラウンジへお越し下さい!

2025 年秋季大会期間中，会員サービスとして JSAE 会員ラウンジを開設致します．
個人会員の方は電子会員証（以前のカード型でも可）をご提示頂ければ，無料でコーヒー・紅茶・緑茶・水が飲み放題です．（セルフ式）
また，初日の 15 日（水）は，16:30 よりラウンジ内で「会員交流会」を開催致します．
アルコールも用意しますので，企業の壁を取り払いざっくばらんに会員同士で交流しましょう！
スマホで電子会員証の準備をお願い致します．

【開設時間】
10 月 15 日（水） 8:00 ～ 18:00
10 月 16 日（木） 8:30 ～ 16:00
10 月 17 日（金） 8:30 ～ 16:00

【会　　場】
西日本総合展示場新館 A 展示場

【会員交流会】
10 月 15 日（水） 16:30 ～ 18:30

【会員ラウンジ設備】
電源・Wifi・飲料（コーヒー・紅茶・緑茶他）

2025年度自動車技術会シンポジウム・講習会のご案内

委員会活動の成果として、日本のトップエンジニアを講師に招き専門分野別のシンポジウム・講習会を企画しています。本年度は全23件を開催予定です。
最新の技術情報を、会員のみならず広く社会に提供するとともに、
参加者による活発な意見の交換が行われます。自動車技術会は研究成果を社会に還元することで、安全・環境問題などの社会的課題に取り組んでいます。

詳細はこちら→

10月15日(水) 2025年秋季大会タイムテーブル

北九州国際会議場 1-3F

メインホール

9:30
合成燃料
001
002
003
004
No. 87
講演件数:4件
11:10
12:10
アルコール・アンモニア燃焼
005 ★
006
007
008
No. 88
講演件数:4件
13:50
14:20
ノッキング
009
010
011
No. 89
講演件数:3件
15:35
16:05
ガソリン燃焼
012
013
014
015
No. 90
講演件数:4件
17:45
18:00
19:00

11 会議室

9:30
生産・製造 I
016
017
018
019
020
No. 91
講演件数:5件
11:35
12:35
生産・製造 II
021
022
023
No. 92
講演件数:3件
14:20
潤滑油・潤滑剤
024
025
026
027
No. 93
講演件数:4件
16:00

21 会議室

9:30
CO_2 低減
028
029
030
031
032 ★
No. 94
講演件数:5件
11:35
12:35
排出ガス
033
034
035
10 分間休憩
036 ★
037
038
039
No. 95
講演件数:7件
15:40

国際会議室

9:30
社会システム I
- 自動運転 -
040
041
042
043
No. 96
講演件数:4件
11:10
12:10
社会システム II
- 交通流・インフラ -
044 ★
045
046
10 分間休憩
047
048
049
No. 97
講演件数:6件
14:50

32 会議室

9:30
金属材料 I
050
051 ★
052
10 分間休憩
053 ★
054
055
056 ★
No. 98
講演件数:7件
12:35
13:35
金属材料 II
057
058 ★
059
10 分間休憩
060
061 ★
062
No. 99
講演件数:6件
16:15

D

9:30
車両の運動と制御 I
063
064
065
066
No. 100
講演件数:4件
11:10
11:20
ランチョンセミナー①
12:00
12:10
車両の運動と制御 II
067
068
069
070 ★
No. 101
講演件数:4件
13:50
14:20
車両の運動と制御 III
071
072
073
074
No. 102
講演件数:4件
16:00

- ☑ 講演時間：原則として 25 分／ 1 講演（15 分，質疑など 10 分）
- ☑ 本タイムテーブルは 2025 年 9 月 19 日付の申込データに基づき作成されたものです．
  この学術講演会プログラム発行以降に講演取下げとなる可能性がございます．
  予告なく変更する場合がございますので，ご了承ください．
- ☑ 講演番号を□印で囲んだ講演は，英語講演です．
- ☑ 講演番号の隣の「★」は，後日配信がない講演です．
- ☑ 各講演会場に，講演評価フォームにアクセスできる QR コードを掲示しております．優秀賞選出のため重要となりますので，ご協力のほどよろしくお願いします．

西日本総合展示場 AIM3F

E

振動・騒音・乗り心地 I
075
076
077
No. 103
講演件数:3件
10:45
11:45
振動・騒音・乗り心地 II
078
079
080
10 分間休憩
081
082
083
No. 104
講演件数:6件
14:25
14:55
振動・騒音・乗り心地 III
084
085 ★
086
10 分間休憩
087
088 ★
089
No. 105
講演件数:6件
17:35

F

ヒューマンモデリング
090
091
092
10 分間休憩
093
094
095
No. 106
講演件数:6件
12:10
13:10
エンジン部品・トライボロジー I
096　097　098
No. 107
講演件数:3件
エンジン部品・トライボロジー II
099
100
101
102
No. 108
講演件数:4件
16:35

G

運転行動 I
103
104
105
10 分間休憩
106
107
108
No. 109
講演件数:6件
情報提示
109
110
111
10 分間休憩
112
113
114
No. 110
講演件数:6件
15:50

311-313

EV・充給電
115
116
117
No. 111
講演件数:3件
10:45
11:45
EV・MBD
118
119
120
10 分間休憩
121
122
123
No. 112
講演件数:6件
14:25
14:55
EV・エネルギーマネジメント
124
125
126
127
128
No. 113
講演件数:5件
17:00

314-315

空力・CAE
129
130
131
132
133
No. 114
講演件数:5件
11:35
12:35
熱マネジメント
134
135
136
137
No. 115
講演件数:4件
14:15
14:45
熱交換・冷媒
138
139
140
141
No. 116
講演件数:4件
16:25

新館 1F

A展示場

10:00
第10回学生ポスターセッション
16:00

JSAE INNOVATION FAIR 2025
17:00

リーガロイヤルホテル小倉

オーキッド

ロイヤルホール

エンジン・後処理・パワートレイン | 車体・シャシ・生産加工 | ITS・人間工学 | 部品・材料 | CAE/NV・計測・流体 | HV・PHV・EV | 安　全 | その他

各セッションの講演内容は p.14〜30 をご確認下さい.

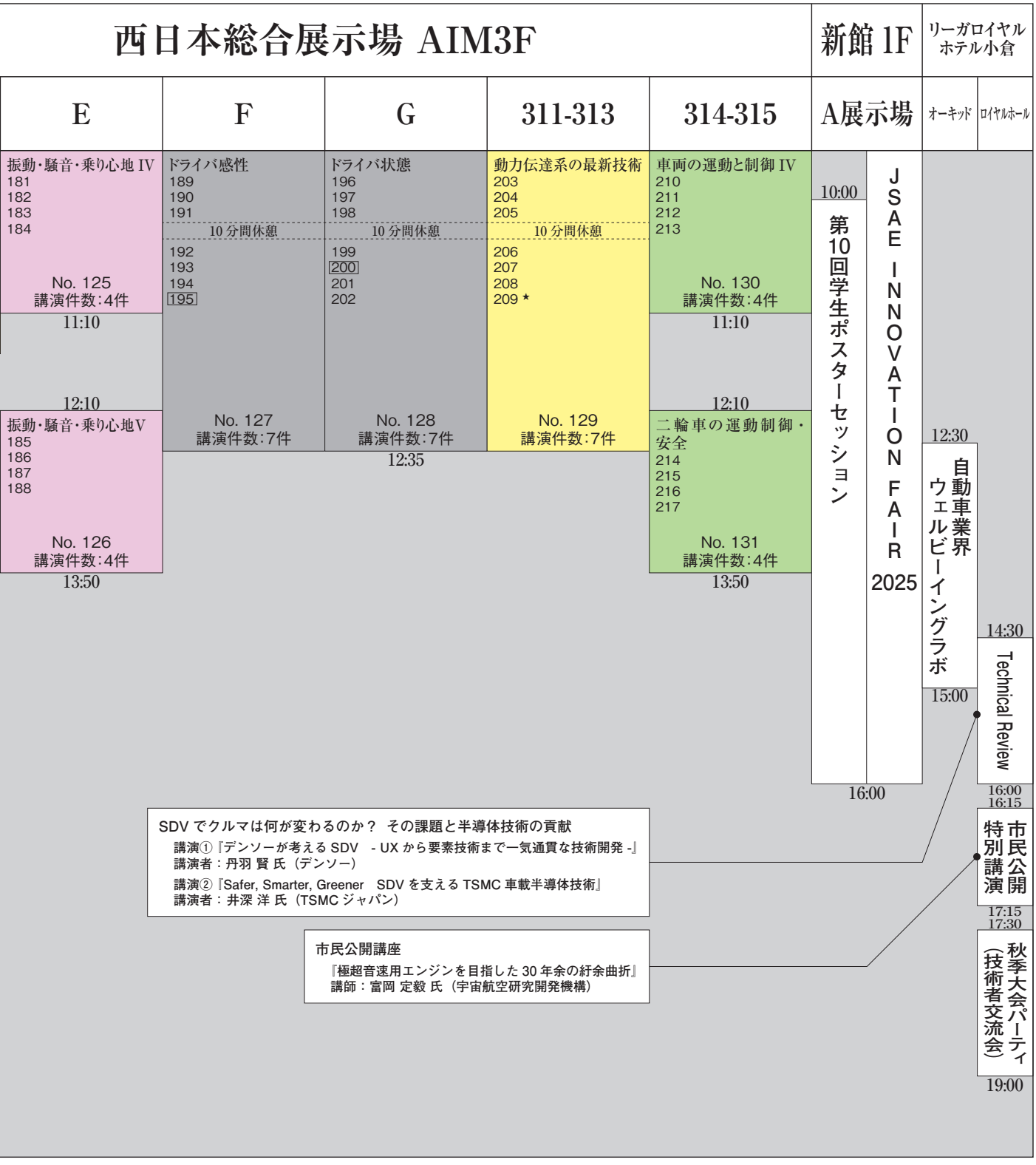
10月16日(木) 2025年秋季大会タイムテーブル

北九州国際会議場 1-3F

会場	メインホール	11 会議室	21 会議室	国際会議室	32 会議室	D
9:30	EV 用モーター・パワートレイン I 142 143 144 145 No. 117 講演件数:4件	車体開発 III 150 151 152★ 10 分間休憩 153★ 154 155 156 No. 119 講演件数:7件	事故自動通報と傷害予測 157 158 159 160 161 No. 120 講演件数:5件	冷間ガスエミッション 162 163★ 164 165 166 No. 121 講演件数:5件	通信・エレクトロニクス I - 設計・開発 - 170 171 172★ 10 分間休憩 173 174★ 175 No. 123 講演件数:6件	基礎燃焼 176 177 178★ 179 180 No. 124 講演件数:5件
	11:10			11:35	12:10	11:35
	12:10	12:35		12:35		
13:00	EV 用モーター・パワートレイン II 146 147 148 149 No. 118 講演件数:4件			ガソリンデポ 167 168 169 No. 122 講演件数:3件		
	13:50			13:50		
15:00						
17:00						
18:00						
19:00						

- ☑ 講演時間：原則として 25 分／ 1 講演（15 分，質疑など 10 分）
- ☑ 本タイムテーブルは 2025 年 9 月 19 日付の申込データに基づき作成されたものです．
  この学術講演会プログラム発行以降に講演取下げとなる可能性がございます．
  予告なく変更する場合がございますので，ご了承ください．
- ☑ 講演番号を□印で囲んだ講演は，英語講演です．
- ☑ 講演番号の隣の「★」は，後日配信がない講演です．
- ☑ 各講演会場に，講演評価フォームにアクセスできる QR コードを掲示しております．優秀賞選出のため重要となりますので，ご協力のほどよろしくお願いします．

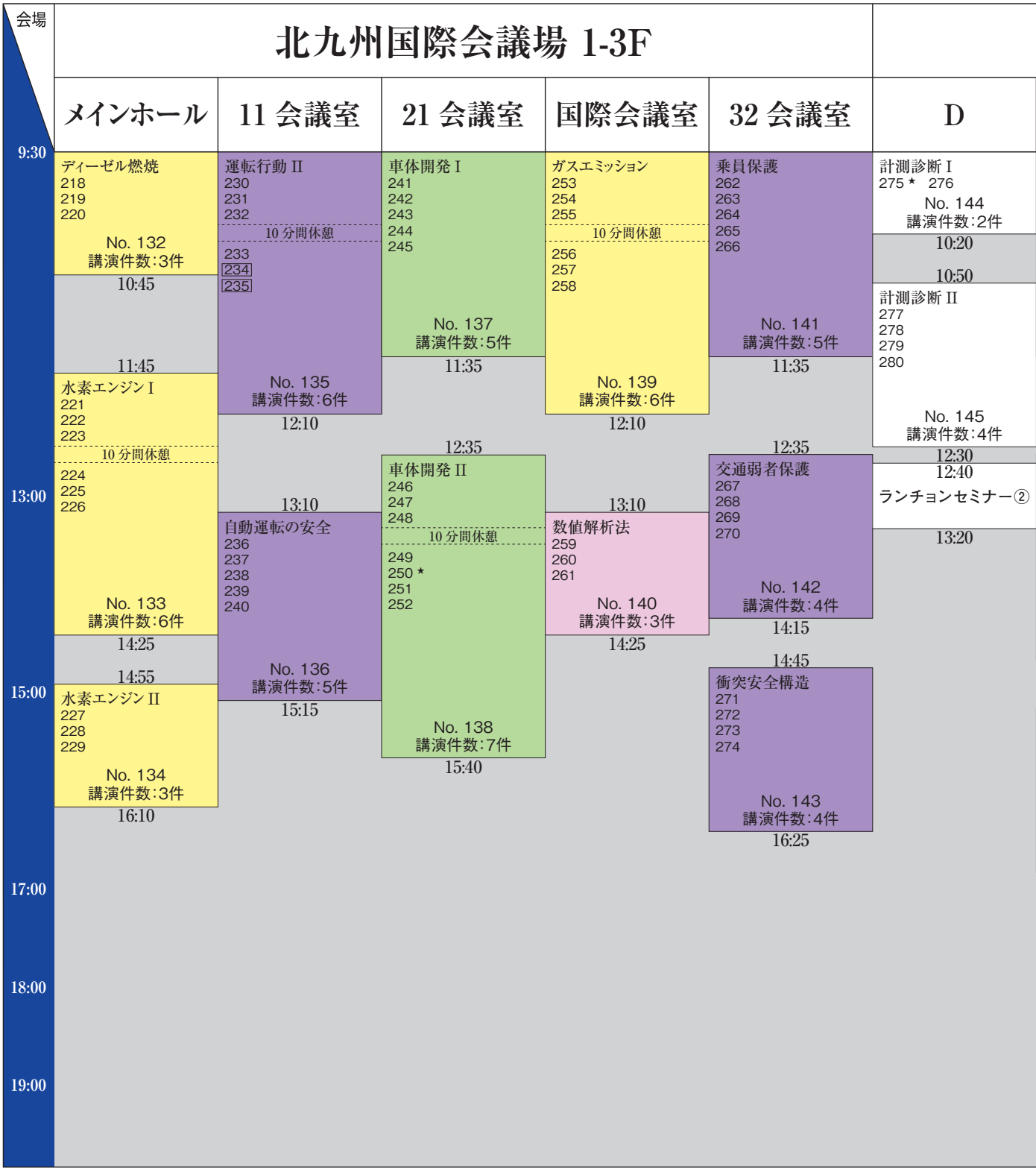
2025年9月現在



エンジン・後処理・パワートレイン | 車体・シャシ・生産加工 | ITS・人間工学 | 部品・材料 | CAE/NV・計測・流体 | HV・PHV・EV | 安　全 | その他

各セッションの講演内容は p.14〜30 をご確認下さい.

10月17日(金) 2025年秋季大会タイムテーブル



- ☑ 講演時間：原則として 25 分／ 1 講演（15 分，質疑など 10 分）
- ☑ 本タイムテーブルは 2025 年 9 月 19 日付の申込データに基づき作成されたものです．
  この学術講演会プログラム発行以降に講演取下げとなる可能性がございます．
  予告なく変更する場合がございますので，ご了承ください．
- ☑ 講演番号を□印で囲んだ講演は，英語講演です．
- ☑ 講演番号の隣の「★」は，後日配信がない講演です．
- ☑ 各講演会場に，講演評価フォームにアクセスできる QR コードを掲示しております．優秀賞選出のため重要となりますので，ご協力のほどよろしくお願いします．

2025年9月現在

西日本総合展示場 AIM3F

E

複合材料・接合 I
281
282
283
284
285
No. 146
講演件数:5件

11:35

12:35

複合材料・接合 II
286
287
288
289
290
No. 147
講演件数:5件

14:40

15:10

先進材料技術
291
292
293
294
No. 148
講演件数:4件

16:50

F

ペダル操作
295
296
297
10 分間休憩
298
299
300
No. 149
講演件数:6件

12:10

13:10

高齢ドライバー
301
302
303
304
305
No. 150
講演件数:5件

15:15

G

視認性
306
307
308
309
310
No. 151
講演件数:5件

11:35

12:35

運転シート
311
312
313
314
315
No. 152
講演件数:5件

14:40

311-313

EV 用バッテリー
316 ★
317
318
319
320
No. 153
講演件数:5件

11:35

12:35

EV 開発 I
321
322
323
324
325
No. 154
講演件数:5件

14:40

15:10

EV 開発 II
326
327
328
329 ★
330
No. 155
講演件数:5件

17:15

314-315

自動運転・運転支援
331
332
333
10 分間休憩
334
335
336
No. 156
講演件数:6件

12:10

13:10

通信・エレクトロニクス II
- 評価技術・サイバーセキュリティ -
337
338
339
10 分間休憩
340
341
342
343
No. 157
講演件数:7件

16:15

新館 1F

A展示場

10:00

第10回学生ポスターセッション

16:00

JSAE INNOVATION FAIR 2025

リーガロイヤルホテル小倉

ダイヤモンド

10:00

第7回若手・中堅技術者交流会

17:00

エンジン・後処理・パワートレイン
車体・シャシ・生産加工
ITS・人間工学
部品・材料
CAE/NV・計測・流体
HV・PHV・EV
安　全
その他

各セッションの講演内容は p.14〜30 をご確認下さい.

学術講演会プログラム（71 セッション・343 講演）

- 本プログラムは 2025 年 9 月 19 日付の申込データに基づき作成されたものです.
- この学術講演会プログラム発行以降に講演取下げとなる可能性があります.
  予告なく変更する場合がございますので，ご了承ください .
- 講演のアブストラクトは自動車技術会webサイト「タイムテーブル」からご覧下さい.
  （https://gakkai-web.net/jsae/a/2025/program/data/jp/time-table.html）
- 講演番号を□印で囲んだ講演は英語講演です.
- 講演番号の隣の「★」は後日録画配信がない講演です.

JSAE Congress Autumn, Technical Session Program

- This program is based on the data as of September 19, 2025.
- The abstracts of the presentations are available on the timetable of the website.
  [https://www.jsae.or.jp/2025aki/english/program.php]
- There may be withdrawn presentations.
- Boxed numbers denote English presentations.
- A “★” next to presentation number indicates that the presentation will not be streamed after the congress.

北九州国際会議場 メインホール

【9:30 ～ 11:10】

87 合成燃料
Synthetic Fuels
座長：安藤　詩音（九州大学）

001 FT合成粗油からの自動車用ガソリン・ディーゼルへの高効率な転換プロセスの開発
岡本　憲一・大森　敬朗・木濟　寛史・今井　章雄・盛田　和行・田畑　光紀（カーボンニュートラル燃料技術センター）
濱田　夏輝・佐藤　一仁・飯塚　喜啓（コスモ石油）

002 FT合成由来ガソリンのエンジン燃焼特性に関する検討
葛岡　浩平・小熊　光晴（産業技術総合研究所）
岡本　憲一（カーボンニュートラル燃料技術センター）

003 オキシメチレンジメチルエーテル（OME）適合を目指したディーゼル噴射パラメータの最適化
田中　柊輔・今野　凱斗・蒋　子健・山本　寛也・田島　昌稔・柴田　元・小川　英之（北海道大学大学院）

004 液体合成燃料の蒸留性状がディーゼル噴霧燃焼に与える影響
山本　寛也・田島　昌稔・田中　柊輔・今野　凱斗・柴田　元・小川　英之（北海道大学大学院）

【12:10～13:50】

88 アルコール・アンモニア燃焼
Alcohol・Ammonia Combustion
座長：Eknechukwu Chijioke Okafor（九州大学）

005★ 二輪車用エンジンを用いたメタノール混合燃料の冷機始動における燃焼特性の解明
大平　哲也（愛知工科大学）
伊藤　啓介・金子　誠・藤井　英和・須田　尚幸・二宮　至成（スズキ）

006 スーパーリーンバーンエンジンにおけるエタノールの燃焼影響
菅田　健志・松原　直義・山田　涼太・北野　康司（トヨタ自動車）

007 ディーゼル代替アルコール拡散燃焼技術（第3報）
-2燃料噴射弁を用いた軽油を火種とするエタノール拡散燃焼の着火要件-
脇坂　佳史・福井　健二・近藤　照明・政所　良行・西川　一明・冬頭　孝之（豊田中央研究所）
伊達　健治・植田　祐介・菅原　里志（デンソー）

008 火花点火エンジンにおける液体アンモニアのポート噴射が吸気量及び燃焼特性に及ぼす影響
大友　光彰・増井　英陽・宮川　浩（豊田中央研究所）
中谷　規之介・竹内　正（豊田自動織機）

【14:20～15:35】

89 ノッキング
Knocking
座長：松田　大（九州大学）

009 ノッキング検出精度向上に向けた検出周波数最適化と検証結果
仁木　智哉・恩田　友和・永洞　真康・中屋　翔揮・岸本　幸輝・佐藤　広直・髙井　宏哉・安達　龍（SUBARU）

010 脂環式系炭化水素がノッキングに及ぼす影響
丸山　大和（日本工業大学大学院）
中野　道王（日本工業大学）
衞藤　邦淑（やまびこ）

011 排気再循環経路内燃料改質が火花ノック抑制効果に及ぼす影響とその要因の解明に関する研究
辻　祥汰・柴田　元・小川　英之（北海道大学大学院）
後藤　隼（ヤマハ発動機）

【16:05～17:45】

90 ガソリン燃焼
Gasoline Combustion
座長：清水　良（日本文理大学）

012 グロス図示熱効率が53%を超える火花点火新燃焼方式の提案と実証（第1報）
-正味熱効率向上のコンセプト-
森川　弘二・野村　卓矢・森吉　泰生・窪山　達也（千葉大学）
赤松　篤・南　祐輔（コスモ石油ルブリカンツ）
中山　智裕・武藤　涼（SUBARU）

013 グロス図示熱効率が53%を超える火花点火新燃焼方式の提案と実証（第2報）
-3D-CFDによる燃焼の最適化と実機での検証-
野村　卓矢・森川　弘二・森吉　泰生・窪山　達也（千葉大学）
赤松　篤・南　祐輔（コスモ石油ルブリカンツ）
中山　智裕・武藤　涼（SUBARU）

014 小型競技車両用多気筒ガソリンエンジンの吸気特性
-吸気管形状による影響の基礎的検討-
高山　拓武・笠松　忍・小林　一景・呉　文宝・黒田　純平（東海大学）
小川　和輝（愛知工科大学）
加藤　英晃・成田　正敬（東海大学）

015 2ストロークガソリンエンジンの掃気過程のシミュレーション
畑村　耕一（畑村エンジン研究事務所）
川上　忠重（法政大学）
衞藤　邦淑（やまびこ）
飯島　晃良（日本大学）
西田　恵哉（広島大学）

北九州国際会議場 11会議室

【9:30～11:35】

91 生産・製造 I
Production, Manufacturing I
座長：小倉　純一（ヤマハ発動機）

016 薄板外板採用時の工程シミュレーションの連携による塗装乾燥熱ひずみ予測精度向上の取り組み
馬場　謙二郎・庄山　和輝（トヨタ車体）
竹添　慎一・上西　隆一・津之浦　勝士（トヨタ車体研究所）
千野　剛・新井　真陽（JSOL）
福井　広高・藤原　孝司（トヨタ車体）

017 サロゲートモデルによるプレス成立性評価手法の開発
吉松　隆行・小島　茂樹・金井　剛・原田　貴明・岡村　浩志・彌永　大作・宮澤　侑次・若狭　守・野々村　潔（トヨタ自動車）

018 CAEと機械学習を統合した樹脂成形のための最適条件自動探索手法の構築
竹原　悠人・貫井　隆行・加茂川　諒・林　芳子・高村　兼司（旭化成）

019 物体検出技術を用いた実入り返却防止のための確認作業効率化システムの開発（第1報）
鍵　昌弘・平井　徹・榊原　優也・河邉　遼・瀬井　春樹・森　優人（トヨタ自動車）

020 DX活用によるシリンダブロック鋳巣状態の良否判定自動化技術
木本　博行・岡原　悠貴・岩城　徹・坂本　浩隆・信原　邦啓（トヨタ自動車）

【12:35～13:50】

92 生産・製造 II
Production, Manufacturing II
座長：黒河　周平（九州大学）

021 環境調和型表面処理プロセス実現に向けた固体電解質膜による電気めっき技術
西山　正明・加藤　彰・東小薗　創真（トヨタ自動車）
井上　仁・伯耆原　克也・佐藤　豊樹（ミカドテクノス）

022 環境調和型表面処理プロセス実現に向けた超音波ミストによるめっき処理洗浄技術
後藤　洸聖・平松　孝浩（TMEIC）
西山　正明・加藤　彰（トヨタ自動車）

023 コールドスプレーバルブシート量産工法の開発
柴山　博久・松山　秀信・井澤　嵩・禰津　広直・高橋　尚太郎・廣部　大樹（日産自動車）

【14:20～16:00】

93 潤滑油・潤滑剤
Lubricant
座長：川野　大輔（大阪産業大学）

024 油膜形成型潤滑油添加剤の適用による省電費EV油に関する基礎検討（第2報）
中村　俊貴・古瀬　孝志・長谷川　慎治・赤堀　慎哉・伊藤　王一・桜田　宗一郎・秋口　隼之丞（ENEOS）

025 電動駆動油の低粘度化と有機材料適合性の研究
足立　常夫・小野　芳則・Walter Bunting（アフトンケミカル・ジャパン）
Christopher Cleveland（Afton Chemical）
岩澤　良太・鈴木　裕美・中村　仁・北島　裕之・青木　恒（SUBARU）

026 植物由来原料を用いたILSAC GF-7 JASO GLV-2に適合する省燃費エンジンオイルの開発
菅野　泰徳・齊藤　陸人・矢倉　和真・松井　能利之・小野寺　康（ENEOS）

027 ルールベース手法を用いたギヤピッチングの検出手法
秋口　隼之丞（ENEOS）

北九州国際会議場 21会議室

【9:30～11:35】

94 CO_2 低減
CO_2 Suppression
座長：野内　忠則（静岡理工科大学）

028 自動車セクターにおけるカーボンニュートラルに向けた課題の検討
-大型車を中心とした検討-
金成　修一・平井　洋・伊藤　晃佳・鈴木　徹也（日本自動車研究所）

029 CO_2回収技術搭載車におけるCO_2取り出し行動の顧客受容性に関する研究
内田　健司・堀越　政寛・三浦　瑛子・田中　力・原田　雄司（マツダ）

030 エンジン排気からのCO_2回収に対する湿度スイング法の適応可能性
大澤　佑介・松原　伊吹（茨城大学大学院）
境田　悟志・田中　光太郎（茨城大学大学院／茨城大学）

031 脱炭素に向けた産学官連携による次世代大型車開発促進事業について
髙嶋　智貴（国土交通省）

032★ パリ協定に基づく電気自動車の走行段階でのLCA予測
佐野　慶一郎・氏家　優凛（関東学院大学）
大井　康寛（元関東学院大学）
八木田　浩史（日本工業大学）
河西　純一・武田　克彦（関東学院大学）

【12:35～15:40】

95 排出ガス
Emissions
座長：冬頭　孝之（豊田中央研究所）

033 Study of OSC Materials from the Viewpoint of Catalyst Deterioration On-Board Diagnosis
Akhmad Fadel Fadilla・Masami Nakamoto・Dai Sawada・Tetsuro Onishi・Kazuya Yasuda（Daihatsu Motor）
Yuki Kazama・Shunsuke Oishi・Takashi Goto（Cataler）
Daiju Matsumura（Japan Atomic Energy Agency）
Hirohisa Tanaka（Japan Atomic Energy Agency/Kwansei Gakuin University）

034 Off-Highway用途向けPM/PN粒子排出対策のための高性能DPF
加藤　章太郎・鈴木　裕明・甲斐　隆嗣・青木　崇志（日本ガイシ）

035 ディーゼルエンジンにおけるPN10排出挙動について
阿野田　洋・後藤　陽紀・渋谷　元司郎（いすゞ自動車）
Igor Gershkovich・Mojtaba Keshavarz（Isuzu Motors Germany GmbH）

036★ 触媒密度の設計によるガソリン用パティキュレートフィルタの高性能化
滝沢　知也・栗田　寛之・荒木　崇至・酒井　康平・村上　浩（マツダ）

037 重量車に搭載された尿素SCRシステムの使用過程における性能低下要因に関する研究
山本　敏朗（自動車技術総合機構）

038 乗用車の亜酸化窒素排出特性に与える環境湿度の影響
越川　翔生・鈴木　央一（自動車技術総合機構）

039 PHEV向け高気孔率担体の検討
鈴木　大稀・松本　海・青木　崇志・松本　祐・佐々木　裕二（日本ガイシ）
Anoop Reghunathan Nair・永嶋　翔（NGK Automotive Ceramics USA）

北九州国際会議場 国際会議室

【9:30～11:10】

96 社会システムⅠ - 自動運転 -
Social System Ⅰ -Automated Driving-
座長：杉町　敏之（東京都市大学）

040 複数の交通場面からのOperational Design Domainの設定に向けた走行環境の体系的整理方法
霜野　慧亮・萩野　光明・中野　公彦（東京大学）

041 学習データの品質が視覚的質問応答タスクに基づく自動車走行シーン検索モデルの性能に与える影響調査
中西　奏太・大谷　健登（名古屋大学大学院）
武田　一哉（名古屋大学大学院／ティアフォー）

042 遠隔アシストによる自動運行の有効性検証
赤木　康宏（名古屋大学）
遊佐　洋・和泉　亘（ソリトンシステムズ）
金森　亮・森川　高行（名古屋大学）

043 交差点における行動計画に向けた可視車両挙動に基づく不可視車両の存在推定
森田　嵩基（名古屋大学）
竹内　栄二朗（ティアフォー）
武田　一哉（名古屋大学）

【12:10～14:50】

97 社会システムⅡ - 交通流・インフラ -
Social System Ⅱ -Traffic Flow・Infrastructure-
座長：北島　創（日本自動車研究所）

044★ BEV熱動力評価用シミュレータの他車挙動モデル構築
野島　雅悠・森田　真樹・堀本　卓嗣（トヨタ自動車）

045 BEV充放電サービス基盤による開発効率化とシステムの省コスト化に関する検討
杉山　緑・江原　雅人・坂柳　佳宏・平野　貴洋・乙幡　翼（トヨタ自動車）

046 商用車需要の将来変化を見通すための物流需要推計プロセスと補完手法の構築
新徳　顕大（構造計画研究所）
大橋　伸匡・新田　淳一郎（いすゞ中央研究所）
前田　涼子（構造計画研究所）

047 交通需要に応じた仮想信号機（VTL）の制御アルゴリズム設計と適用効果の評価
坂井　渓太（東洋大学大学院）
鈴木　宏典（東洋大学）

048 Trajectory Prediction of Traffic Participants in Interaction Scenes at Signalized Intersections
Quy Hung Nguyen Van・Heishiro Toyoda（Toyota Motor）
Cui Xiongyi・Rosman Guy（Toyota Research Institute）
Kimimasa Tamura（Woven by Toyota）

049 視覚言語モデルを活用した環境変化に頑健なナンバープレート認識システム
新庄　康太・吉澤　真太郎・森　優人（トヨタ自動車）

北九州国際会議場 32会議室

【9:30～12:35】

98 金属材料Ⅰ
Metal Materials Ⅰ
座長：片桐　知克（JFE テクノリサーチ）

050 機械学習を用いた6000系アルミ合金のBH後の耐力予測に関する研究（第1報）
永井　潤哉・青野　健太郎・根川　亮佑・高見　大輝（SUBARU）

051★ 鋼／アルミ異材スポット溶接継手の強度特性（第1報）
-引張せん断と剥離強さに関する調査-
各務　綾加・梅野　栄介・堀田　尚輝・藤崎　徹也（トヨタ自動車）
松岡　秀明・尼子　龍幸（豊田中央研究所）

052 車載部品筐体向け放熱性アルミニウム塗装材の開発
渡邉　博紀・加藤　治・京　良彦（UACJ）

053★ アンモニア燃焼雰囲気におけるステンレス鋼の窒化挙動
藤村　佳幸・林　篤剛・平川　直樹・濱田　純一（日本製鉄）

054 T型Ni合金ろう付け継手の曲げ疲労特性
王　暁光・梅澤　篤志（東京濾器）

055 コールドスプレーバルブシートの材料開発
伊澤　佳典・高橋　尚太郎・荒井　淳一・平山　勇人（日産自動車）

056★ 面疲労/曲げ疲労強度に優れた浸炭浸窒用鋼の開発
伊藤　有沙・玉井　智也・大橋　亮介・山﨑　歩見（大同特殊鋼）

【13:35～16:15】

99 金属材料Ⅱ
Metal Materials Ⅱ
座長：石倉　亮平（大同特殊鋼）

057 高強度ホットスタンプ材を適用した電池パックの高機能部材の開発
齋藤　由実・木本　野樹・白神　聡（日本製鉄）

058★ せん断端端面の遅れ破壊特性に与える端面二次成形の影響について
松木　優一・戸畑　潤也・新宮　豊久・木村　英之・塩崎　毅（JFE スチール）

059 三軸同時加振による振動耐久評価に関する考察
中村　勝彦・奥永　樹（IMV）
大澤　司・吉田　憲司（デンソー）
百武　哲也（SOKEN）

060 980MPa級高張力鋼板を母材としたスポット溶接引張せん断継手の疲労限度向上
-単一過大荷重による疲労限度の向上-
田中　耕太郎（日本大学大学院）
岡部　顕史・冨岡　昇（日本大学）

061★ 赤外線熱弾性法によるスポット溶接継手の疲労強度評価
上田　秀樹・白水　浩（日本製鉄）
田中　嶺至（日鉄テクノロジー）

062 ホットスタンプによる一体化部品の高性能化のための分析評価技術の開発
久保　雅寛・木本　野樹・岡田　徹・白神　聡（日本製鉄）

西日本総合展示場 AIM3階 D

【9:30～11:10】

100 車両の運動と制御 I
Vehicle Dynamics and Control I
座長：服部　義和（豊田中央研究所）

063 車両三自由度運動モデルにおける操舵応答特性のエネルギー伝達モデルの構築
小瀬川　篤（神奈川大学大学院）
山崎　徹・栗原　海・岩田　和朗（神奈川大学）

064 エネルギー伝達モデルに基づく直進安定性と操舵構成部の動的評価
山崎　徹（神奈川大学）
小瀬川　篤（神奈川大学大学院）
栗原　海・岩田　和朗（神奈川大学）

065 スプリットμ路における車両安定性向上のための駆動・操舵協調制御
神谷　大貴・伊藤　章（愛知工業大学）

066 EPSシステムのトーションバー剛性設計に関する一考察
三好　尚（本田技研工業）

【12:10～13:50】

101 車両の運動と制御 II
Vehicle Dynamics and Control II
座長：山門　誠（神奈川工科大学）

067 後輪横すべり角を用いた旋回安定化制御
大久保　直人・小山　亮・本庄　史明（本田技研工業）

068 車体前後の相対ロール角速度補償制御による旋回時ロール挙動と運動特性改善効果の検討
松本　平樹（J-QuAD DYNAMICS）
山田　陽介（アドヴィックス）

069 トーションバー式アクティブサスペンションへのデータベースドプレビュー制御の適用
古田　浩貴・穂積　仁・齋藤　敬・慶田　達哉
（トヨタ自動車）

070★ 路面μ推定によるスリップ限界を考慮した最適駆動力制御と自動芝刈り機への応用
坂上　恭平・伊藤　亜紀子（本田技術研究所）
荒川　貴行・川崎　雄一（本田技研工業）

【14:20～16:00】

102 車両の運動と制御 III
Vehicle Dynamics and Control III
座長：占部　博之（本田技術研究所）

071 操舵と路面凹凸の複合入力下における操縦安定性の解析
田中　歩武・芝端　康二・山門　誠・山本　真規・
安部　正人・狩野　芳郎（神奈川工科大学）

072 車両運動特性の変化がドライバーの運転操作に与える影響の解析
前田　義紀（トヨタ自動車）

073 ブレーキG-Vectoring制御車両のロボット操舵試験とτ_Lによる操舵特性評価
源平　伊吹・山本　真規・狩野　芳郎・
安部　正人・山門　誠（神奈川工科大学）
柴田　知寿（トヨタ自動車）

074 前方路面におけるタイヤ・路面間の摩擦特性推定システム構築に関する研究
-前方路面の摩擦特性推定システムに向けたセンサ選定とアルゴリズム構築-
渡辺　淳士（日本大学）
景山　一郎（日本大学／先進路面摩擦データベース研究組合）
栗谷川　幸代（日本大学）
原口　哲之理（日本大学／先進路面摩擦データベース研究組合）
金子　哲也（大阪産業大学）
西尾　実（アブソリュート）

西日本総合展示場 AIM3階 E

【9:30～10:45】

103 振動・騒音・乗り心地 I
Noise, Vibration and Ride Quality I
座長：市川　佳（本田技研工業）

075 圧縮センシングDICを用いたタイヤ試験における振動解析
加藤　由幹（高知工科大学）
綿引　壮真（構造計画研究所）
大髙　政祥（小野測器）
遠越　光輝（構造計画研究所）
小田　吉帆（小野測器）

076 サスペンション入力に対するばね上振動特性の実験解析手法
-前後・左右入力を含めた車両電動化の影響解析-
吉見　剛・香村　伸吾（トヨタ自動車）

077 加振機による車両振動の再現と振動感覚評価
田中　颯太・玉置　元（東京都立大学）
野島　崇矢・塩崎　弘隆（三菱自動車工業）
吉村　卓也（東京都立大学）

【11:45～14:25】

104 振動・騒音・乗り心地 II
Noise, Vibration and Ride Quality II
座長：多田　寛子（本田技研工業）

078 電動駆動ユニット開発におけるマルチボディダイナミクスCAEを使った加振力と振動伝達のNV予測技術
陰山　俊雄（AVL Japan）

079 反射位相差値の探索に基づく車室内音場解析モデルの構築
桝本　貴之・竹川　真弘（サイバネットシステム）
黒柳　和志・重田　郎・熊倉　弘幸（JVC ケンウッド）

080 ユニットモードの新しい抽出法の提案
望月　隆史・鈴木　寛之・平居　嵩朗・日高　一希・花島　萌
（エステック）

081 自動車車体の振動特性におよぼす質量および剛性分布の影響
揚場　遼・樋貝　和彦・塩崎　毅（JFE スチール）

082 アルミ合金製ボルトおよびチタン合金製ボルトを用いた締結体の振動特性評価
川原橋　優希・久我　聡（東京都市大学大学院）
岸本　喜直・小林　志好（東京都市大学）
藤森　トリスタンサミュエル・井上　恵介
（東京都市大学大学院）

083 マグネシウム合金を用いたマルチマテリアル構造におけるボルト締結部の振動特性
藤森　トリスタンサミュエル・井上　恵介
（東京都市大学大学院）
岸本　喜直・小林　志好（東京都市大学）
川原橋　優希・久我　聡（東京都市大学大学院）

【14:55～17:35】

105　振動・騒音・乗り心地 III
Noise, Vibration and Ride Quality III
座長：見坐地　一人（日本大学）

084　高周波リプル音検討のためのバッテリユニットから車室内への空気伝搬特性予測技術
藤井　謙弥・外山　直基（本田技研工業）
平　仁志（オートテクニックジャパン）

085★　ドライビングシミュレータを活用した電気自動車のNV開発プロセスとモデル化技術
鳥居　建史・三瀬　史遠・藤井　謙弥（本田技研工業）
Sellerbeck Philipp（HEAD Acoustics）
田邊　謙太（ヘッドアコースティクスジャパン）

086　車室内音および車両情報によるエンジン音評価推定モデルの構築
菅沼　真一（中央大学大学院／日産自動車）
長江　新平（日産自動車）
戸井　武司（中央大学）

087　走行状態の時間履歴有無によるエンジン音評価推定モデルの構築
菅沼　真一（中央大学大学院／日産自動車）
長江　新平（日産自動車）
戸井　武司（中央大学）

088★　ガタツキや擦れによる異音の自動評価システム開発（第二報）
作石　達哉・米森　一貴・山中　高章・
徳永　佳也・倉見　洋平（日産自動車）

089　変動感を伴う空力騒音の不快感を評価する心理音響指標の検討
鷲津　智哉（日産自動車）
小松崎　俊彦（金沢大学）
吉村　卓也（東京都立大学）
飯田　明由（豊橋技術科学大学）
山崎　徹（神奈川大学）
松村　雄一（岐阜大学）
宮本　孟宜・飯田　桂一郎（スズキ）
谷口　圭一（日産自動車）

西日本総合展示場 AIM3階 F

【9:30～12:10】

106　ヒューマンモデリング
Human Modeling
座長：林　隆三（東京理科大学）

090　ロジスティック回帰を用いた無信号横断歩道における歩行者の判断特性の解析
荒木　俊人・西本　宇志・奥田　裕之・鈴木　達也
（名古屋大学大学院）
伴　和徳（トヨタテクニカルディベロップメント）

091　判断に基づくドライバ-歩行者モデルによるヒヤリハット検証
山口　拓真（トヨタテクニカルディベロップメント）
渡辺　融（名古屋大学）
伴　和徳（トヨタテクニカルディベロップメント）
奥田　裕之・鈴木　達也（名古屋大学）

092　ニューラルネットワークモデルを用いたサイクリストの交差点通過行動の分析とモデル化
脇坂　龍・山口　拓真・伴　和徳
（トヨタテクニカルディベロップメント）
奥田　裕之・鈴木　達也（名古屋大学）

093　前庭サプライズモデルによる運転指導の効果検証
手嶋　啓太・高山　雅年・小坂　智雄・成末　充宏・藪中　翔・
佐藤　大地・矢吹　壮史・渡邊　雅之（マツダ）

094　操作入力制約を考慮した個人適合型ステアリングアシストシステム（第2報）
長坂　大輔（J-QuAD DYNAMICS）
伊藤　章（愛知工業大学）
奥田　裕之・青木　宏文（名古屋大学）
市瀬　茂徳（J-QuAD DYNAMICS）

095　人体有限要素モデルを用いた全身振動時の腹部内臓挙動の解析
濱﨑　透・中平　祐子・岩本　正実（豊田中央研究所）

【13:10～14:25】

107　エンジン部品・トライボロジー I
Engine Components・Tribology I
座長：伊東　明美（東京都市大学）

096　大規模走行データと機械学習を組み合わせた市場でのエンジン部品挙動推定手法の構築
大塚　勇貴・吉井　健太・山上　和彦・
渡部　一晃・田中　浩平（本田技研工業）

097　エンジン軸受向け評価用単体試験機における焼付き過程の実験的研究
幸島　元彦・永田　真理・田村　忠教・櫻井　真一
（大同メタル工業）

098　ピストンスカート部へのオイル供給に関する解析
陣内　智也・佐藤　健太（群馬大学大学院）
川島　久宣・鈴木　秀和・石間　経章（群馬大学）

【14:55～16:35】

108　エンジン部品・トライボロジー II
Engine Components・Tribology II
座長：山口　卓也（大分大学）

099　冷却損失低減に向けた筒内遮熱膜および評価解析技術の研究（第1報）
-遮熱材設計・コーティング手法と遮熱性能評価-
篠田　健太郎・木下　幸一・山田　ムハマドシャヒン・
阿部　陽香・阿子島　めぐみ・久保田　英志
（産業技術総合研究所）
伊藤　貴之（日本自動車研究所）

100　冷却損失低減に向けた筒内遮熱膜および評価解析技術の研究（第2報）
-遮熱コーティングの熱特性評価-
阿部　陽香・篠田　健太郎・阿子島　めぐみ・
木下　幸一・山田ムハマド　シャヒン・久保田　英志
（産業技術総合研究所）

101　低熱伝導材料を用いたピストン遮熱膜の開発（第2報）
山野井　亮子・荻原　一輝・田野　哲平・依田　詩陽里
（アート金属工業）

102　ガソリンエンジンの燃費・燃焼安定性を向上させる高応答遮熱膜の開発
岡田　寛也・小林　千馬・津田　雄史・川下　浩史（SUBARU）
高岡　勝哉（日本特殊陶業）
高木　海人・土生　陽一郎・佐南　恒佑（トーカロ）

西日本総合展示場 AIM3階 G

【9:30～12:10】

109 運転行動 I
Driver Behavior I
座長：佐藤　稔久（産業技術総合研究所）

103 危険場面の自動検知と深度カメラを用いた足行動評価システムの開発
洲崎　一眞・林　弘昭・菅野　重樹（早稲田大学）
一色　聡（NX キャッシュ・ロジスティクス）
亀崎　允啓（東京大学）

104 ドライバの内部状態の動的推定に基づく潜在的な不安全意識の予兆検知
鈴木　宏典（東洋大学）
木村　年晶（京都橘大学）
田島　淳（三咲デザイン）

105 KM式安全運転検査キットを用いた日中両国ドライバの運転行動の比較
山高　正烈（愛知工科大学）
松永　勝也（九州大学）

106 運転免許非保有者の無信号交差点における自転車の運転特性
長峯　桜都・吉武　宏・小竹　元基（東京科学大学）

107 運転の楽しさに基づく安全なレベル2運転支援システムの制御要件の検討
加藤　昌彦・坂本　真樹（電気通信大学大学院）
田中　健次（電気通信大学）

108 運転への注意力リソース低下を判別する指標の検討
-視線停留時間によるアイセンタリング現象の捕捉-
小川　洋明・浅見　克志（デンソー）
川守田　拓志（北里大学）

【13:10～15:50】

110 情報提示
Information Presentation
座長：栗谷川　幸代（日本大学）

109 車載メーターディスプレイ内警告サインの検出性に対する行動的評価法の検討
木村　司・Yurie Shin・大江　龍太郎（大阪大学大学院）
古屋　雅則・植栗　寛達（日産自動車）
篠原　一光（大阪大学大学院）

110 アニメーション表示による車室内情報提供が運転行動に及ぼす影響
-V2Xシステムから提供される見通しの悪い交差点情報を対象にした検討-
大谷　亮・本間　亮平（日本自動車研究所）
阿部　正明（日本自動車工業会）

111 ヒューマノイドロボットとのインタラクションが歩行者配慮の運転行動に与える影響
研谷　彩花・山本　大貴（京都工芸繊維大学大学院）
苧阪　満里子（大阪大学）
西崎　友規子（京都工芸繊維大学）

112 生成AIとの会話を行うドライバの生理情報に着目した覚醒度推定手法に関する基礎検討
佐藤　達也・小椋　優太・高橋　俊太・林　功明・
三枝　亮・大瀧　保明・高尾　秀伸（神奈川工科大学）
川田　歩・谷澤　悠輔・橋本　拡昌・藤野　留佐子・
永田　英記・大杉　淳・萩山　真一（パイオニア）

113 交差点右折時のインフラ協調型運転支援用ヒューマン・マシーン・インターフェイスの評価
澤田　純・大貫　正明・中野　公彦（東京大学）

114 事象関連電位を用いた運転時の状況に対する支援情報の受容性評価
郭　鐘聲（拓殖大学）
吉武　宏・小竹　元基（東京科学大学）

西日本総合展示場 AIM3階 311-313

【9:30～10:45】

111 EV・充給電
EV・Power Supply and Charging
座長：加藤　武士（本田技術研究所）

115 ダイナミックプライシングを想定した高速道路における電気自動車の充電行動シミュレーション
新美　琢万（芝浦工業大学大学院）
磐田　朋子・吉岡　剛（芝浦工業大学）

116 新型BEVの充給電システム開発
北島　拓実・西田　圭佑・保坂　悠一・折田　崇一
（日産自動車）

117 太陽光発電システム搭載小型低速EVの実現可能性に関する研究
廣田　壽男・紙屋　雄史（早稲田大学大学院）
池田　颯・村松　恭行（ヤマハ発動機）

【11:45～14:25】

112 EV・MBD
EV・MBD
座長：平野　覚（日野自動車）

118 MBD（Model-Based Development）によるパワーユニット開発プロセスの進化（第6報）
-車両性能を活かすドライブユニットサーマルモデルの構築と活用-
本荘　拓也・菊池　理香・緒方　健一郎・
小出　景二郎・松本　匠（本田技研工業）
永田　幹人（メイテックフィルダーズ）

119 MBD（Model-Based Development）によるパワーユニット開発プロセスの進化（第7報）
-エンジンサーマルプラントモデルの定式化技術によるモデル高速化-
小出　景二郎・緒方　健一郎・松本　匠・歳實　剛
（本田技研工業）

120 MBD（Model-Based Development）によるパワーユニット開発プロセスの進化（第8報）
-サーマル統合したモデル構築と制御適合への活用-
緒方　健一郎・本荘　拓也・菊池　理香・
小出　景二郎・松本　匠・歳實　剛（本田技研工業）
松本　淳也（両毛システムズ）
佐藤　幹徳・濱津　祐貴（オートテクニックジャパン）
永田　幹人（メイテックフィルダーズ）

121 MBD（Model-Based Development）によるパワーユニット開発プロセスの進化（第9報）
-ハイブリッドパワーユニットを対象とするエネルギマネジメント制御のロバスト性向上-
松本　匠・緒方　健一郎・村田　祐一郎・本間　祐樹・
東上　圭司・福岡　哲也（本田技研工業）
松本　淳也（両毛システムズ）
佐藤　幹徳・犬飼　克麻（オートテクニックジャパン）

122 軽自動車用パラレルハイブリッドシステムのモデルベース開発
水嶋　教文（産業技術総合研究所）
山口　恭平（国士舘大学）
飯山　洋一・角　有司（宇宙航空研究開発機構）

123 1D車両システムモデルを活用したハイブリッド車両の最適な熱及びパワーマネージメント制御の検討（第2報）
波頭　佑哉・星　凜之介・楊　イ翔・廣田　寿男・紙屋　雄史（早稲田大学）
佐藤　圭峰（マツダ）

【14:55～17:00】

113　EV・エネルギーマネジメント
EV・Energy Management
座長：牟田　浩一郎（トヨタ自動車）

124 BEVの実路エコドライブ手法に関する検討（第2報）
-軽BEVの実路電費特性-
加藤　彰・尹　孝娟・木村　勇稀（帝京大学）

125 小型商用EVにおける各因子の電費・一充電走行距離に及ぼす影響の実験的評価検討
鈴木　央一・小鹿　健一郎・三好　正太・長谷川　智紀（自動車技術総合機構）

126 シャシダイナモ・シミュレーション連成による制駆動制御システムの機能・性能の評価手法（VILS）の開発
寺尾　明紘・明珍　敏行・三和　一智（日産自動車）

127 xEVの評価試験に用いるシャシダイナモメータシステム要件の検討（第3報）
-実走行状態の再現を目的とするシャシダイナモメータ試験システムの性能要件とその評価法を規格化する目的について-
中手　紀昭（日本自動車輸送技術協会）
鈴木　央一（自動車技術総合機構）
井上　勇（小野測器）
廣瀬　翼（堀場製作所）
古田　智信（明電舎）
久波　秀行（マツダ）
佐藤　健司（トヨタ自動車）
竹村　保人（ダイハツ工業）
谷脇　眞人（スズキ）
中川　翔平（本田技研工業）
成毛　政貴（日本自動車研究所）
田代　康介（三菱自動車工業）
堀川　健夫（SUBARU）
桝谷　啓一（日産自動車）
野田　明（元日本自動車輸送技術協会）

128 EVおよび共有蓄電池による家庭・施設連携エネルギー最適化手法
大野　結人（名古屋大学）
稲垣　伸吉（南山大学）
鈴木　達也（名古屋大学）

西日本総合展示場 AIM3階 314-315

【9:30～11:35】

114　空力・CAE
Aerodynamics・CAE
座長：石間　経章（群馬大学大学院）

129 機械学習を用いた自動車エンジンルーム内流れおよび熱交換器通過風速の推定
橘川　拓実・陳　放歌・寺口　剛仁・赤坂　啓・南里　卓也（日産自動車）

130 雪付き低減と空力性能を両立するための流れ場構造の研究
森岡　基・齋藤　雅俊・上田　朋久・宮澤　日向（SUBARU）

131 雪道走行時のフロアアンダーカバーへの雪堆積予測のCAE手法開発
松浦　格・安念　輝之・上野　繁樹・原田　岳行・浅井　幹雄・渡辺　治行（トヨタ自動車）

132 地面近くを移動する縦円柱と縦正方形柱の周囲流
三田村　悠生・Mohammed Firoz Rathore・松野　円紀（同志社大学）
井上　達哉（鉄道総合技術研究所）
平田　勝哉（同志社大学）

133 同一サイズタイヤの形状違いによる空気抵抗差の発生要因と低減手法の研究
星田　良光・長岡　宏哲・巻田　真・磯部　祐一（本田技研工業）

【12:35～14:15】

115　熱マネジメント
Thermal Management
座長：長谷川　巧（SUBARU）

134 3次元流体解析による車室内電子部品の雰囲気温度予測法開発（第1報）
奥村　孝文・西森　久雄・武藤　潤・釜谷　大志・本多　哉尋・山口　大樹（トヨタ自動車）

135 障害物配置の最適化による電気自動車用バッテリー冷却流路の設計
古澤　善克・新谷　国隆・廣谷　俊輔（Nature Architects）
矢地　謙太郎（大阪大学）
須藤　海（Nature Architects）

136 メッシュフリーシミュレーションによる車室内の等価温度解析（第5報）
-冷房日射非定常を対象とした等価温度の計算-
尾関　義一（AGC）
大井　元・松本　彰（日産自動車）

137 ブロワファンの定常解析におけるMRF領域の適正化による高精度化
谷中　克年・小池　祐輔・山口　寛一・清水　圭吾（マツダ）
中島　卓司（広島大学）
志賀　正幸・木下　由架（日本クライメイトシステムズ）

【14:45～16:25】

116　熱交換・冷媒
Heat Exchange・Refrigerants
座長：森田　真樹（トヨタ自動車）

138 ピンフィン付き熱交換器への沸騰熱伝達数値解析モデルの適用
田中　啓貴・佐藤　隆哉・大山　武士（デンソーテクノ）
浜地　志憲・時谷　政行（核融合科学研究所）
辻　義之（名古屋大学大学院）

139 電動車の熱マネージメントシステム開発への1D車両モデルの活用
飯塚　基正（SOKEN）
竹田　哲馬・小島　隆義（デンソー）

140 R-1132（E）混合冷媒の自己分解評価
臼井　隆・後藤　智行・井上　智仁・根岸　泰隆（ダイキン工業）

141 車載用電動コンプレッサにおける短絡のモデル化とアーク放電エネルギー予測
長井　謙悟・大水　耀太（名古屋大学）
臼井　隆・根岸　泰隆・後藤　智行（ダイキン工業）
重松　浩一・今岡　淳・山本　真義（名古屋大学）

10月16日（木）

北九州国際会議場 メインホール

【9:30～11:10】

117 EV 用モーター・パワートレイン I
Motor, Powertrain for EV I
座長：相馬　慎吾（元本田技術研究所）

142 高出力密度モータの開発（第1報）
-設計コンセプト立案と妥当性検証-
板坂　直樹・河野　通治・椛嶌　寿行・野村　健太郎・平林　千典（MCF Electric Drive）

143 高出力密度モータの開発（第2報）
-解析と試作による性能検証-
椛嶌　寿行・板坂　直樹・河野　通治・野村　健太郎・平林　千典（MCF Electric Drive）

144 高出力密度モータの開発（第3報）
-冷却性能実証と設計最適化-
河野　通治・椛嶌　寿行・板坂　直樹・野村　健太郎・平林　千典（MCF Electric Drive）

145 小型EV向け空冷インホイールモータのロータリーフィン構造の開発
須藤　哲也・高橋　暁史（Astemo）
伊藤　誠（日立製作所）
後藤　英明（Astemo）

【12:10～13:50】

118 EV 用モーター・パワートレイン II
Motor, Powertrain for EV II
座長：真島　隆司（IHI）

146 ミニバン用2モータ電動AWDシステムの開発
田島　秀平・坂上　永悟・下山　広樹（日産自動車）

147 新型両面冷却パワーモジュールを用いた電気自動車用高出力インバータの開発
並木　一茂・松田　浩一（日産自動車）
沼倉　雄太・篠原　秀一・粟森　渉哉（Astemo）
鰕原　優（ジヤトコ）

148 3代目新型電気自動車向けEVパワートレイン開発
丸山　渉・村上　裕尉・長坂　貞宏・山中　基嗣（日産自動車）
犬田　行宣（ジヤトコ）

149 センシングトルクによる角速度応答に基づくインホイールモータ駆動車のスリップ率推定法の検討
安島　俊幸（Astemo）
初瀬　渉（日立製作所）
山崎　勝（Astemo）

北九州国際会議場 11会議室

【9:30～12:35】

119 車体開発 III
Vehicle Development III
座長：関根　康史（福山大学）

150 A Study on the Development, CAE Analysis, and Test Validation of a Cell Frame Assembly Module for Advanced Battery Systems
Geonhee Cheon・Gun In・Namjin Kim・Donghoon Kim・Jungsub Kim・Hyun Sung（Seojin Industrial）
Gyuho Shim（Ecoplastic）

151 衝突した電気自動車の保管における延焼防止に関する実験的研究（第1報）
鮭川　佳弘・山崎　浩嗣・高橋　昌志・鴻巣　敦宏・田村　陽介（日本自動車研究所）

152★ A Study on the Development of Predictive Method for Structural Weakness of Bus Body in Concept Stage Using 1D Beam Model and Machine Learning
Gyuhee Kim（Hyundai Motor）

153★ A Study on Suspension Input Load Prediction Using RNN-Based Virtual Sensor for Durability Application
Seungwan Son・Daejin Kim（Hyundai Motor）

154 レプリカ交換法による部品配置の効率的な最適化
関　孝一・道下　雅也・樗澤　英明（トヨタ自動車）

155 カーネルQAを用いたフレーム断面形状の最適化
霜田　航・近藤　俊樹・小平　剛央（マツダ）

156 新色開発時における塗料組成からのミリ波レーダー透過性予測技術の開発
大咲　直也・Cheetuck Ho・浮島　景子・鍛治　奈津子（日産自動車）

北九州国際会議場 21会議室

【9:30～11:35】

120 事故自動通報と傷害予測
Automatic Crash Notification and Injury Preventation
座長：西本　哲也（日本大学）

157 救急搬送時間を予測するシミュレーションおよび簡易予測手法の開発
朝倉　慎治・豊田　平司郎・三好　朋之・川野　洋人・森内　高志・山際　慎司・安田　聖愛（トヨタ自動車）

158 D-Call Net通報ΔVと事故データ疑似ΔVの差異解析
棚瀬　昇・勝間田　静江・安藤　貴裕（トヨタ自動車）
石井　麻友（交通事故総合分析センター）
長岡　靖（トヨタ自動車）

159 自動通報データと事故統合データのマッチングによる自動通報の実態の研究
木内　透（交通事故総合分析センター）
齋藤　信夫・安藤　一郎（日本緊急通報サービス）
影澤　英子・石井　麻友（交通事故総合分析センター）

160 車両衝突エリアを考慮した歩行者傷害予測への画像認識の活用
徳山　美恵・勝間田　静江（トヨタ自動車）
市川　宏治（トヨタテクニカルディベロップメント）
安藤　貴裕・棚瀬　昇（トヨタ自動車）

161 ドライブレコーダ音声情報を用いた衝突検知モデルの開発（第1報）
野村　優樹・國富　将平・鮭川　佳弘（日本自動車研究所）
長岡　靖（日本自動車工業会）

北九州国際会議場 国際会議室

【9:30～11:35】

121 冷間ガスエミッション
Cold Gas Emissions
座長：木下　英二（鹿児島大学）

162 電気加熱による尿素SCR触媒の早期活性に向けた制御用数値モデルの構築
小島　隼人・青木　澪音・櫻井　智基・草鹿　仁（早稲田大学）

163★ 排気流路反応制御による冷間エミッション低減技術の構想と検証
葛　晰遥・西城戸　蘭・髙橋　巧朋・服平　次男・高島　大知（マツダ）

164 ガソリンエンジンの排気管内における未燃HC種のポスト酸化メカニズムの研究
山川　正尚・藤川　竜也・下栗　大右・山本　啓介（広島大学）
内田　健児・堀　隼基・吉岡　直希・白根　楓（マツダ）
三好　明・庄　祥希（広島大学）

165 ガス吸着，浄化および粒子捕集の機能を一体化したコンパクト排気後処理の提案
松本　雅至（日本自動車研究所）
花村　克悟（上智大学／科学技術振興機構）
荻　崇（広島大学）
久米　鉱平・松方　正彦（早稲田大学）
北村　高明（日本自動車研究所）

166 尿素SCRシステムにおける尿素水加熱時のアンモニア生成特性の解析
石井　徹・中川　研吾（同志社大学大学院）
松村　恵理子（同志社大学）

【12:35～13:50】

122 ガソリンデポ
Gasoline Deposit
座長：住田　弘祐（マツダ）

167 ガソリンデポジットの硬化メカニズム
-デポジットの加熱冷却サイクルによる粘弾性変化-
中山　慶則・須沢　匠（SOKEN）
片岡　朋治（トヨタ自動車）

168 高効率ガソリン火花点火機関における燃焼室内デポジットのモデル化研究（第1報）
-実機エンジンを用いた燃焼室内デポジットの加速生成実験-
本橋　一馬・中嶋　匠・大草　見斗・境田　悟志・
田中　光太郎・金野　満（茨城大学）
木下　幸一・阿部　容子（産業技術総合研究所）
小玉　聡・森　伸介（東京科学大学）

169 高効率ガソリン火花点火機関における燃焼室内デポジットのモデル化研究（第2報）
-オートクレーブを用いた燃焼室内デポジットの生成メカニズムの解明-
木下　幸一・阿部　容子（産業技術総合研究所）
田中　光太郎・境田　悟志・金野　満（茨城大学）
森　伸介・小玉　聡（東京科学大学）

北九州国際会議場 32会議室

【9:30～12:10】

123 通信・エレクトロニクスI - 設計・開発 -
Communication and Electronics I -Design and Development-
座長：曽根原　理仁（マツダ）

170 SDV時代を支えるプリント配線板製造品質の信頼性影響調査
熊谷　奈都葵・堀川　敦・酒井　規光（日産自動車）

171 SDV時代におけるプリント配線板の耐湿寿命設計と耐湿試験の再定義
堀川　敦・熊谷　奈都葵・成田　隼翼（日産自動車）
安藤　雅俊・岡田　和也・志村　優之・依田　健志・
角谷　武徳（太陽インキ製造）

172★ 高速通信用コネクタのSnめっきから生じるウィスカの発生メカニズムと対策の提案
武藤　潤・西森　久雄・前田　淳也・折中　ミイユ・
柴田　靖文・山田　孝司（トヨタ自動車）

173 高密度実装電子部品のはんだ剥離現象の解析と設計指針の提案
柴田　靖文・西森　久雄・山形　彰宏（トヨタ自動車）

174★ 量子インスパイアード技術を用いたECUコネクタピン信号割当最適化
寺部　俊紀・井端　大輔・吉本　博・菅　義訓（トヨタ自動車）
岩根　慎司（富士通）

175 パワーエレクトロニクスMBDに対応するゲートドライバーのCMTI検証モデル開発と注意点
-VHDL-AMS言語によるCMTI検証モデル-
瀧澤　登（フリーコンサルタント）

西日本総合展示場 AIM3階 D

【9:30～11:35】

124 基礎燃焼
Basic Combustion
座長：吉山　定見（北九州市立大学）

176 水素火花点火機関における火花放電および火炎の時系列発光スペクトル解析
清水　康太郎・河原　伸幸・小橋　好充（岡山大学）
市　聡顕（カワサキモータース）
松下　耕一朗（本田技研工業）
神尾　朋彦（ヤマハ発動機）
二宮　至成・金子　誠（スズキ）

177 予混合乱流火炎の火炎伝播と消炎特性に対するカルロビッツ数による検討
松田　大・前山　紘史・Ekenechukwu C. Okafor・
北川　敏明（九州大学）

178★ カーボンフリー燃料を用いたレシプロエンジンに於けるイオン電流計測
棟尾　康一・泉　光宏・楠原　功・山尾　明宏・
和田　豪（ダイヤゼブラ電機）

179 火花点火式アンモニアエンジンの着火・燃焼特性の研究
山田　涼太・春日　俊相・坂井　洋志・橋詰　剛
（トヨタ自動車）

180 メタン/水素/二酸化炭素の三成分混合燃料の層流予混合燃焼特性
西尾　渉・小林　拓真・清水　剛世（早稲田大学）
吉村　佳・徳原　聡（スズキ）
草鹿　仁（早稲田大学）

西日本総合展示場 AIM3階 E

【9:30～11:10】

125 振動・騒音・乗り心地 IV
Noise, Vibration and Ride Quality IV
座長：杉山　康二（スズキ）

181 モード解析および動挙動解析を通した単気筒ディーゼルエンジンにおける燃焼起因振動特性の一考察
山根　大知・青柳　香凜・三上　真人（山口大学大学院）

182 節配置のための逆解法を用いた構造設計の基礎検討
小西　敬三（本田技術研究所）
鳥居　建史（本田技研工業）
玉木　秀人（オートテクニックジャパン）
佐藤　晶（元東京都立大学）
吉村　卓也（東京都立大学）

183 3軸トランスミッションベンチにおける懸架系影響模擬技術開発によるNVH評価手法改善
石垣　彰一・藤村　甫・正　浩志・住友　浩昭・
桑本　祐紀（トヨタ自動車）

184 道路交通騒音予測のための車両騒音モデルの簡易構築法
柳林　愛夢（神奈川大学大学院）
白橋　良宏・栗原　海（神奈川大学）
宝渦　寛之（自動車技術総合機構）
山崎　徹（神奈川大学）

【12:10～13:50】

126　振動・騒音・乗り心地Ⅴ
Noise, Vibration and Ride Quality V
座長：森田　英憲（トヨタ自動車）

185　第3世代100%電動駆動ハイブリッドパワートレインの燃費と静粛性両立技術開発
近藤　慎平・岡島　倫史・中澤　正樹・矢部　正・柴田　大輔・関根　佑太郎・児島　剛・松尾　宏（日産自動車）

186　第三世代e-POWERユニットを搭載した新型電動車の静粛性車両開発
餌取　秀一・宮川　隆行・菅沼　真一・森　行広（日産自動車）

187　電動パワートレインの騒音低減に向けた3in1化とEV専用プラットフォームへの最適化
新井　和彦・浅原　康之・久田　章弘・児島　剛・松尾　宏（日産自動車）

188　3-in-1ユニットを搭載した次期型電気自動車の静粛性車両開発
安藤　喜大・宮川　隆行・菅沼　真一・森　行広（日産自動車）

西日本総合展示場 AIM3階 F

【9:30～12:35】

127　ドライバ感性
Driver Sensitivity
座長：平岡　敏洋（日本自動車研究所）

189　温熱環境下における気流刺激によるドライバの身体部位に対する感受特性
林　瑶子（東京科学大学）
郭　鐘聲（拓殖大学）
平尾　章成（芝浦工業大学）
小竹　元基（東京科学大学）

190　スイッチ操作感触の心理量定量化モデル構築（第2報）
七枝　佑哉・坂本　秀樹（アルプスアルパイン）
竹原　昭一郎（上智大学）

191　評価グリッド法による自動車操舵系の感性評価語の抽出に関する研究
星野　裕大（上智大学大学院）
竹原　昭一郎（上智大学）
中田　凌・田中　克則（日産自動車）

192　新たなアプローチによる直進安定性の定量指標化
-ショーファーカー開発への適用-
森田　俊樹・佐々　長孝・片山　智之・南　宣在（トヨタ自動車）

193　ステアリング操作力・把持力計測システムを用いた操舵フィーリングの客観評価法の開発
澁江　秀明・小林　裕太郎・宮崎　達也・村松　英行（S&VL）

194　運転初心者の不安低減に向けた映像視聴と振り返りの効果
西崎　友規子（京都工芸繊維大学）
朱宮　千裕・吉田　創（京都工芸繊維大学大学院）
平野　真（パナソニックホールディングス）
岳山　基之（パナソニックオートモーティブシステムズ）
森田　幸弘（パナソニックホールディングス）

195　Verification of 180° Rotating Armrest Console Rigidity through Analysis
Dongmin Kim（SECO KOMOS）

西日本総合展示場 AIM3階 G

【9:30～12:35】

128　ドライバ状態
Driver State
座長：安藤　貴史（産業技術総合研究所）

196　自動運転におけるテストドライバーの負荷計測
-自動運転時と手動運転時の心拍及び自律神経指標への影響-
渡邉　寛・高原　三浩（オートテクニックジャパン）
自見　圭司（群馬大学大学院）

197　自動運転時のドライバのリアルタイム覚醒度推定に向けた非接触センシング
竹内　大樹（産業医科大学）
大須賀　美恵子・鎌倉　快之（大阪工業大学）

198　心拍・心拍変動指標を用いた人の状態評価
-LF/HF指標の解釈について-
大須賀　美恵子・鎌倉　快之（大阪工業大学）
山田　晋平・竹内　大樹（産業医科大学）

199　車運転時の脈波特徴量と表情特徴量を用いた慢性ストレスの推定
村井　利成・石黒　理雄・外山　幸太（千葉大学）
根岸　大輔（スズキ）
高橋　雅人・津村　徳道（千葉大学）

200　Consideration of Appropriate Driving Supports to Achieve Successful Experiences in Alleviating Anxiety
Yosuke Furuya・Yoshihisa Okamoto・Nanae Michida（Mazda）
Norihiro Sadato（Ritsumeikan University）

201　自動車運転時の脚部動作による眠気評価に関する研究
阿部　諒太郎・清水　俊行（テイ・エス テック）

202　心拍情報に基づく振動刺激を用いたドライバの覚醒維持に関する研究
髙橋　隆杜・沈　舜聡・廣瀬　敏也（芝浦工業大学）
釜野　健一・相羽　智在・清水　俊行（テイ・エステック）

西日本総合展示場 AIM3階 311-313

【9:30～12:35】

129　動力伝達系の最新技術
The New Technology for The Drivetarin Systems
座長：佐藤　恭一（横浜国立大学大学院）

203　電動車の駆動系モデルによる歯打ち音分析
渡辺　健・和田　幸生・篠原　剛・蓬田　嘉之（SUBARU）

204　電動車の加速レスポンス・歯打ち音を高次元で両立する制御手法の開発
石井　肇・山田　圭悟・高野　悠（SUBARU）

205　大型FCVの回生ブレーキ作動不可時向け空気圧縮開放式補助制動装置（第5報）
-高容量化を実現する2段圧縮方式の採用-
佐野　ちなつ・内田　啓・藤田　壽憲・柴山　尚士（東京電機大学）

206　前後／左右差回転拘束を用いた車両挙動のメカニズム解析
角野　佳・藪崎　佑介・清水　友博・小野　瞭・杉山　諭・伊藤　奨・小栗　昌己（SUBARU）

207　形状生成AIと原理原則を融合したデフケースリングギヤボルト緩みサロゲートモデルの開発
渡辺　和正・下川　智史（トヨタ自動車）
岩山　幸治・小野島　隆之（滋賀大学）
田代　裕明・上野　弘傑・餅原　隆浩（トヨタ自動車）

208　ギヤの歯間で受ける運動量により加速されるオイル流れの数値予測
加藤　由博・植田　忠伸（豊田中央研究所）

209★ 駆動モータ用ベアリングの電食未然防止設計（第2報）
志樂　英之・桑原　隆宏・竹本　怜史（日産自動車）

西日本総合展示場 AIM3階 314-315

【9:30～11:10】

130　車両の運動と制御 IV
Vehicle Dynamics and Control IV
座長：木谷　友哉（静岡大学）

210　トレッドパターンを伴うタイヤ動特性のCAE予測
彌榮　洋一（住友ゴム工業）

211　拡張カルマンフィルタを用いたタイヤ発生力推定モデルの開発
北野　翔太・糸賀　秀樹・日比野　貴則・
桑原　一樹・金子　広孝（トヨタ自動車）

212　道路交通の安全性向上に向けた路面摩擦データベース構築に関する研究
-計測システムおよび解析手法の再構築について-
景山　一郎（先進路面摩擦データベース研究組合／日本大学）
渡辺　淳士・栗谷川　幸代（日本大学）
原口　哲之理（先進路面摩擦データベース研究組合／日本大学）
金子　哲也（大阪産業大学）
西尾　実（アブソリュート）

213　タイヤ-実路面間の接触現象可視化技術の開発
石神　直大・諫山　直生（TOYO TIRE）

【12:10～13:50】

131　二輪車の運動制御・安全
Dynamics Control and Safety of Two-Wheeles
座長：ポンサトーン・ラクシンチャラーンサク（東京農工大学）

214　二輪車の空力特性がフレームの柔軟性に及ぼす影響の解析
片山　硬・明用　将典・藤本　優和・吉野　貴彦
（久留米工業大学）

215　全天球画像からの距離情報の算出と位置計測手法
平澤　順治（茨城工業高等専門学校）

216　内傾機構を備えたパーソナルモビリティビークル（PMV）がスラント路面を手放し走行するための設計要件
原口　哲之理（名古屋大学／日本大学）
金子　哲也（大阪産業大学／日本大学）

217　実車実験による電動キックボードの運動特性の調査研究
-電動キックボードと自転車との比較解析-
周　慧萍・大谷　亮（日本自動車研究所）
長谷川　俊・前　博行（日本自動車工業会）

北九州国際会議場 メインホール

【9:30～10:45】

132　ディーゼル燃焼
Diesel Combustion
座長：萩原　世也（佐賀大学）

218　PCCI燃焼下における2段ポスト噴射の最適化に関する研究
平岩　洋二・渡邊　雪斗・柴田　元・小川　英之
（北海道大学大学院）

219　軽油中に含有させた低沸点炭化水素成分が高圧縮比重量車用ディーゼルエンジンの燃焼・排気特性に与える影響
清水　邦彦・松田　知紘・草鹿　仁（早稲田大学）

220　燃料の着火性および芳香族成分がディーゼル機関から排出されるすす粒子の炭素結晶子サイズに及ぼす影響
黒島　悠・山倉　裕己・小原　瑞貴（北見工業大学大学院）
稲葉　一輝・林田　和宏（北見工業大学）

【11:45～14:25】

133　水素エンジン I
Hydrogen Engine I
座長：田上　公俊（大分大学）

221　選択拡散効果を考慮した直噴水素エンジンの1次元燃焼モデル構築
三上　敬生・栗原　浩一・石井　裕司・
上原　一浩・半田　英之（トヨタ自動車）

222　背景LIF法による水素噴流濃度分布計測
石田　翔平・安藤　彰浩・俵　竜聖（SOKEN）
丹野　史朗・宮川　淳（トヨタ自動車）

223　M10点火プラグを用いた水素火花点火エンジンにおける点火プラグ近傍当量比計測手法の構築
坂東　大星・河原　伸幸・小橋　好充（岡山大学）
市　聡顕・有馬　一樹・加藤　洋史・和泉　恭平
（カワサキモータース）
松下　耕一朗（本田技研工業）
神尾　朋彦（ヤマハ発動機）
二宮　至成（スズキ）

224　多点式小型データロガーを用いた温度計測手法による筒内直噴水素エンジンの空気過剰率と噴射時期がピストン表面温度に与える影響
塚本　翔太（東京都市大学大学院）
及川　昌訓・三原　雄司（東京都市大学）
山田　聖哉・箕田　賢太郎（東京都市大学大学院）
佐藤　正彦・井関　利幸・安田　純之介（小松製作所）

225　モーターサイクル用水素エンジンの噴射方式がシリンダライナの瞬時熱流束に与える影響
横森　蒼司（東京都市大学大学院）
及川　昌訓・三原　雄司（東京都市大学）
加賀　裕貴（東京都市大学大学院）
岩田　拓実（モトラ）
神尾　朋彦・山杢　淳（ヤマハ発動機）
佐野　堅一（本田技研工業）
二宮　至成（スズキ）
尾鷲　道康（モトラ）
和泉　恭平（カワサキモータース）

226 モーターサイクル用水素エンジンの瞬時熱流束における実測値と数値解析結果の比較検証
加賀　裕貴（東京都市大学大学院）
及川　昌訓・三原　雄司（東京都市大学）
横森　蒼司（東京都市大学大学院）
岩田　拓実（モトラ）
神尾　朋彦・山杢　淳（ヤマハ発動機）
佐野　堅一（本田技研工業）
二宮　至成（スズキ）
尾鷲　道康（モトラ）
和泉　恭平（カワサキモータース）

【14:55～16:10】

134 水素エンジン II
Hydrogen Engine II
座長：菊原　浩司（早稲田大学）

227 水素エンジンの要素技術開発
村田　康幸・長島　広貴・西潟　直祥・岩下　亮・
白鳥　早紀・田川　武尊・渡邉　雅人（SUBARU）

228 水素エンジンの運転条件とシリンダー壁温の違いによる潤滑油中の水分割合及び油中元素の変化がエンジン軸受の摩擦と焼付き特性に与える影響
朱　登達・宮島　泰幸・東野　慎之介（東京都市大学）
岩田　拓実（モトラ）
及川　昌訓（東京都市大学）
飯塚　優介・齊藤　陸人・小野寺　康（ENEOS）
三原　雄司（東京都市大学）

229 水素エンジンの燃焼による潤滑油の水分量の変化がピストン系の摩擦特性に与える影響
東野　慎之介・宮島　泰幸・朱　登達（東京都市大学）
岩田　拓実（モトラ）
及川　昌訓（東京都市大学）
飯塚　優介・齊藤　陸人・小野寺　康（ENEOS）
三原　雄司（東京都市大学）

北九州国際会議場 11会議室

【9:30～12:10】

135 運転行動 II
Driver Behavior II
座長：今長　久（日本自動車研究所）

230 市街地を走行する人間ドライバが周辺車両の危険な行動に遭遇した場合の回避行動及び物理的な余裕を確保するための運転行動（第1報）
児島　亨・真鍋　裕輝・北田　幸一・森崎　憲治
（自動車技術総合機構）

231 市街地を走行する人間ドライバが周辺車両の危険な行動に遭遇した場合の回避行動及び物理的な余裕を確保するための運転行動（第2報）
眞鍋　裕輝・児島　亨・北田　幸一・森崎　憲治
（自動車技術総合機構）

232 四輪車対自転車の出会い頭事故におけるドライバの反応に影響を与える身体・視線要因の分析
杉浦　虎太朗・新田　有輝・趙　雨晴・水野　幸治
（名古屋大学）

233 ドライビングシミュレータを用いた視認性，年齢別の視線行動分析
新田　有輝・杉浦　虎太郎・趙　雨晴・水野　幸治
（名古屋大学）

234 A Study on the Effects of Differences in Driver's Brain Activity on Curve Recognition and Driving Performance
Hiroshi Kuniyuki・Fumitaka Fukuzawa・Kohjiro Hashimoto・
Kikunori Shinohara（Suwa University of Science）
Masashi Makita（Teikyo University）

235 A Study on Optimal Driver Posture with Low Driving Burden
-Impact on Hazard Avoidance Scenarios-
Naoya Yamakawa・Souma Adachi・Ryoto Warashina
（Suwa University of Science）
Masashi Makita（Teikyo University）
Hiroshi Kuniyuki（Suwa University of Science）

【13:10～15:15】

136 自動運転の安全
Safety of Autonomous Driving
座長：櫻井　俊彰（東京都市大学）

236 路側センサのセンシング性能が協調型システムを用いた交差点における自動走行に及ぼす影響
吉武　宏・呉　江（東京科学大学）
釘宮　航（東京大学）
小竹　元基（東京科学大学）

237 自動運転バスの交差点直進時における安全速度算出のための要素抽出
澤登　太一・吉武　宏（東京科学大学）
松浦　由惟・瀬川　雅也（先進モビリティ）
小竹　元基（東京科学大学）

238 複合現実実験による歩行者に対する通信を利用した協調型支援の効果検証
坂村　祐希・本間　亮平・若杉　貴志・安部　原也
（日本自動車研究所）
小竹　元基・吉武　宏（東京科学大学）
高木　悠至（本田技術研究所）
三隅　崇史・島　忠史（国土交通省）

239 吹雪における人の眼の視程を再現したカメラの露光時間
櫻井　俊光・武知　洋太・越國　一九・松澤　勝
（土木研究所寒地土木研究所）

240 近赤外カメラによる凍結路面μの2次元定量計測
川原　友希・城戸　章宏（東北学院大学大学院）

北九州国際会議場 21会議室

【9:30～11:35】

137 車体開発 I
Vehicle Development I
座長：伊藤　大輔（関西大学）

241 軟質ウレタンフォームの気泡分布関数と機械特性（圧縮荷重ー変位特性）の関係性研究（第一報）
-モデリング手法と基礎的F-S特性検討の妥当性確認-
井上　実（マツダ／香川大学／広島大学）
鈴木　桂輔（香川大学）
伊東　博之（東洋シート）

242 樹脂部材と金属部材をボルト締結した構造の減衰性能に関する研究
-振動減衰の力学的な要因と解析モデル-
井上　惠介・藤森　トリスタンサミュエル
（東京都市大学大学院）
岸本　喜直・小林　志好（東京都市大学）
久我　聡・川原橋　優希（東京都市大学大学院）

243 超ハイテンと冷間プレスを活用した部品統合技術開発
揚場　遼・飛田　隼佑・澄川　智史・大西　洋一郎・
樋貝　和彦・塩崎　毅（JFE スチール）

244 水素キャリアガスTD-GC-MSによる車室内VOC成分の定量性検討
唐木　恭將（いすゞ自動車）
達　晃一（いすゞ自動車／静岡県立大学）
星野　邦広（ENV サイエンストレーディング）
中村　貞夫・芹野　武（アジレントテクノロジー）
田原　麻衣子（国立医薬品食品衛生研究所）
松井　秀親（東海技術センター）

245 機械学習を用いたブレーキチャンバの故障予測モデルの開発
奥澤　樹也・鈴木　智也（茨城大学）

【12:35～15:40】

138 車体開発 II
Vehicle Development II
座長：松井　靖浩（自動車技術総合機構）

246 機械学習を用いたSPR（Self Piercing Rivet）の疲労強度予測手法の開発
志水　健人・鈴木　雄太・坂本　浩隆・高橋　康平（トヨタ自動車）
藤本　也久（トヨタ自動車九州）
磯野　志之（トヨタ自動車）

247 インストルメントパネルビームの高解像度トポロジー最適化
和田　有司（東京科学大学）
樫山　武士・長坂　圭（スズキ）
西口　浩司（名古屋大学大学院／理化学研究所）
岡澤　重信（山梨大学）
坪倉　誠（理化学研究所／神戸大学）

248 機械学習を用いたタイヤ接地FEM解析サロゲートモデルの構築
和田　晃（TOYO TIRE）

249 サロゲートモデルを活用した繊維強化樹脂部品の衝突CAE予測精度向上に関する研究
中川　善和・伊藤　修（本田技研工業）

250★ 製造制約を考慮したアルミ押出形材の形状最適化
小松　悠斗・鎮西　将太・山川　大貴・橋本　成一（神戸製鋼所）

251 薄板部品を対象とした外周形状制約付き3次元形状生成AIの開発
杉浦　拓実（JSOL）
橋口　勲武（大阪大学）
高橋　厚至・瀧　宣博（JSOL）
西口　浩司（名古屋大学）
齊藤　啓（JSOL）

252 画像生成AIを活用した機能性と意匠性を両立するトレッドパターン設計技術の開発
石原　遼一・唐津　秀一（TOYO TIRE）

北九州国際会議場 国際会議室

【9:30～12:10】

139 ガスエミッション
Gas Emissions
座長：富田　全幸（日産自動車）

253 リアルワールドエミッション低減技術開発（第1報）
-デジタルツイン開発環境の構築-
池本　雅里・峯尾　健太郎・加藤　美江・塚越　崇博・西岡　寛真・川口　文悟（トヨタ自動車）
森部　雄樹・張本　雅康（トヨタテクニカルディベロップメント）

254 リアルワールドエミッション低減技術開発（第2報）
-デジタルツイン開発環境を活用したエミッション低減検討-
峯尾　健太郎・池本　雅里・加藤　美江・塚越　崇博・西岡　寛真・川口　文悟（トヨタ自動車）

255 ゼロエミッションに向けたパワートレーン技術開発（第1報）
-触媒反応における排出ガス浄化と圧力損失のトレードオフ改善-
植田　啓仁・佐々木　浩允・梅本　寿丈・西岡　寛真・川口　文悟（トヨタ自動車）

256 アークプラズマ蒸着を利用した触媒スクリーニング法の検討
大堀　鉄平（いすゞ中央研究所）
町田　正人（熊本大学）
小澤　恒（いすゞ中央研究所）

257 プラグインハイブリッド乗用車用Pd/CZ系三元触媒の排出ガス浄化挙動のモデリング
遠藤　佑馬（早稲田大学大学院）
波頭　佑哉・荒木　崇至（マツダ）
草鹿　仁（早稲田大学大学院）

258 バイオ燃料のスモーク排出特性
友松　健一・伊藤　昌晴（SOKEN）
薄井　陽・河内　隆史・岸本　岳（豊田自動織機）

【13:10～14:25】

140 数値解析法
Numerical Analysis Method
座長：三浦　淳史（スズキ）

259 変分オートエンコーダーとCADを連携した三次元形状生成技術による管路設計手法の構築
木佐貫　祥一郎・松村　直也・杉浦　卓也（アイシン）

260 直交カットセル法によるDrivAerモデルまわり流れの数値解析
上野　和之・古澤　篤実・竹田　裕貴・十良澤　優至（岩手大学）

261 車室内空気質向上のための車室内ニオイ成分の分析解析
大路　美和子・平原　美恵・國府田　由紀（マツダ）

北九州国際会議場 32会議室

【9:30～11:35】

141 乗員保護
Occupant Safety
座長：大賀　涼（東京都市大学）

262 運転席と助手席に乗車した状態でのファーサイド側突における乗員挙動に関する調査
田中　良知・細川　成之・松井　靖浩・薄井　雅俊（自動車技術総合機構）

263 エアバッグモデル化最新技術
児玉　理恵・田村　健司・大鋼　章文・村瀬　千春・井村　和郎（トヨタ自動車）

264 前面衝突時における後席乗員の骨盤運動に及ぼす拘束条件の影響評価
東　才晴・趙　雨晴・水野　幸治（名古屋大学）
長坂　圭・鈴木　貴大・増田　出光（スズキ）

265 機械学習による衝突時における乗員下肢傷害予測のための車体変形データの生成
野口　恭兵（山梨大学）
長坂　圭・増田　出光（スズキ）
横山　優太（ダイバーテクノロジー）
杉山　裕文（山梨大学）
岡澤　重信（山梨大学／ダイバーテクノロジー）

266 スレッド試験による簡易固定方式の車載用車いすの安全性能評価
福山　慶介・鮭川　佳弘（日本自動車研究所）
上田　祐也（日本自動車工業会）

【12:35～14:15】

142　交通弱者保護
Safety of Vulnerable Road Users
座長：水野　幸治（名古屋大学大学院）

267　高速暴走車による歩行者事故の危険性の評価
-交通事故統計の人身傷害分析から評価した高速暴走車両の歩行者への危険性-
関根　康史（福山大学）

268　実車衝突実験による電動キックボード乗員の挙動解析と頭部傷害評価
木戸　晶洋・寺島　孝明・坂本　龍之輔・加藤　憲史郎（科学警察研究所）
大賀　涼（自動車安全運転センター／東京都市大学）

269　小柄な体格の人体がボンネット車と衝突した際の飛翔挙動に与える電動キックボードの乗車時の高さの影響
大賀　涼（自動車安全運転センター／東京都市大学）
木戸　晶洋・寺島　孝明・坂本　龍之輔・加藤　憲史郎（科学警察研究所）

270　柔軟性と緩衝性を兼ね備えた自転車用頭部保護帽の開発（コンセプトモデル）
鴻巣　敦宏（日本自動車研究所）

【14:45～16:25】

143　衝突安全構造
Crash Safety Structure
座長：櫻井　俊明（元いわき明星大学）

271　多性能適正化を意図したエネルギー伝達に基づく衝突性能設計手順の提案
-薄肉曲り部材の場合-
袁　鑫（神奈川大学大学院）
栗原　海・山崎　徹（神奈川大学）

272　機械学習を用いたプレス成形時のひずみ分布予測
新田　真由（山梨大学）
奥本　悠季・小島　宏介（マツダ）
高橋　玄武（山梨大学）
横山　優太（ダイバーテクノロジー）
杉山　裕文（山梨大学）
岡澤　重信（山梨大学／ダイバーテクノロジー）

273　Isogeometric解析を用いたマルチステップによる形状最適化手法の提案
-第2報：初期形状に依存しないロバストな形状探索-
星野　瑞希（山梨大学）
有本　慎一・川原　康照（トヨタ自動車）
横山　優太・杉山　裕文・岡澤　重信（山梨大学）

274　炭素繊維と亜麻繊維を複合したFRPクラッシュボックス
-衝撃吸収性能に関する実験的検討-
松本　尚也・大竹　聖・笠松　忍・呉　文宝・小林　一景・黒田　純平・加藤　英晃・成田　正敬（東海大学）

西日本総合展示場 AIM3階 D

【9:30～10:20】

144　計測診断 I
Measurement I
座長：田中　光太郎（茨城大学）

275★　サロゲートAIを活用した解析プロセスの構築と実用化
上原　一人・吉澤　秀紀・中井　祥平・北村　恭平・水篠　瑞穂（アイシン）

276　AI-OCRを用いた使用済み自動車用車台番号読取ソフトウェアの改良
中村　格芳（明石工業高等専門学校）
池坊　繁屋（名古屋文理大学）
八畝田　諭・山﨑　均（荒谷商会）

【10:50～12:30】

145　計測診断 II
Measurement II
座長：菅　翔平（アイシン）

277　充電中の電動車両におけるシミュレーションとニューラルネットワークを用いた伝導性エミッションの予測に関する検討
城本　誠・三輪　圭史・梶浦　直哉（トヨタ自動車）

278　静電気放電試験における印加方法の違いによるストレス解析
糸櫻　宏貴（トヨタ自動車）
石田　武志（ノイズ研究所）

279　HEMPが車載機器に与える影響の基礎検討
森　晃（トヨタ自動車）

280　二酸化炭素物理吸着に関する吸着・脱離速度の直接的評価システムの構築
平林　嘉孝・倉石　孝・横山　博史（豊橋技術科学大学）

西日本総合展示場 AIM3階 E

【9:30～11:35】

146　複合材料・接合 I
Composite Materials・Joining I
座長：湯浅　卓也（日産自動車）

281　ハロゲン点周期加熱を用いた炭素繊維強化複合材料の繊維配向評価に及ぼす加熱条件の影響
赤井　淳嗣（京都教育大学）
濱田　幸宏（トヨタ自動車）
佐藤　康元（豊田中央研究所）
三国　敦（トヨタ自動車）

282　耐火構造の違いが繊維強化樹脂複合材料の力学特性に及ぼす影響
石原　裕介・仲井　朝美・大越　雅之（岐阜大学）
幸　淳史・榎田　智志・梶谷　昂平（ダイキョーニシカワ）
安田　周平・小川　淳一・山田　裕紀（マツダ）
重津　雅彦（広島大学）

283　高エネルギー吸収特性を目指したCFRPパイプの設計と性能評価
大石　利樹・青池　駿・仲井　朝美（岐阜大学）

284　CFRPハット材曲げ特性予測のための有限要素モデルの構築と検証
野口　正晴（SUBARU）

285　CFRP板をボルト締結した構造部材の振動特性に関する研究
久我　聡・川原橋　優希（東京都市大学大学院）
岸本　喜直・小林　志好（東京都市大学）
藤森　トリスタンサミュエル・井上　恵介（東京都市大学大学院）

【12:35～14:40】

147　複合材料・接合 II
Composite Materials・Joining II
座長：小田　哲也（トヨタ自動車）

286　CFRPの層間せん断強さ評価方法の高精度化
三宅　亮平・宮田　和弥・吉積　正晃・尾形　浩行（JFEテクノリサーチ）

287 接合部を考慮した重ね合わせ継ぎ手に対するき裂進展シミュレーション
杉山　裕文（山梨大学）
岡澤　重信（山梨大学／ダイバーテクノロジー）

288 種々の接着継手の統一的な強度評価法と付加切欠きによる高強度化
小田　和広（大分大学）
髙木　怜（日本文理大学）
野田　尚昭（九州工業大学）

289 特異応力場の強さISSFに基づく突合せ継手と重ね合わせ継手の強度の比較
髙木　怜（日本文理大学）
野田　尚昭（九州工業大学）
鈴木　靖昭（鈴木接着技術研究所）
小田　和広（大分大学）

290 ベント式射出成形機を用いたバイオマス複合材料の破壊靭性向上に関する研究
大谷　章夫・平田　千璃（京都工芸繊維大学）

【15:10～16:50】

148 先進材料技術
Advanced Materials Technology
座長：山本　研一（マツダ）

291 ポリプロピレンの表面結晶性の経時変化が接着性に与える影響
斎木　琢夫・大槻　晃久・菊地　一雅・鈴木　克彦・海野　春生（日産自動車）

292 リチウムイオン電池電極材の応力比を設けた疲労寿命予測に関する研究
竹内　温樹・古畑　雄大（東京都市大学大学院）
岸本　喜直・小林　志好（東京都市大学）
大塚　康城・川田　友紀・金井　準（ティー・エイ・インスツルメント・ジャパン）
奥井　一（ダイネンマテリアル）

293 動的粘弾性測定によるSBR系バインダーを用いたリチウムイオン電池負極材の散逸ひずみエネルギーの評価
古畑　雄大・竹内　温樹（東京都市大学大学院）
岸本　喜直・小林　志好（東京都市大学）
大塚　康城・川田　友紀・金井　準（ティー・エイ・インスツルメント・ジャパン）
奥井　一（ダイネンマテリアル）

294 燃料電池触媒インクの乾燥プロセスシミュレーションを用いた触媒層の物性予測
杉浦　孝典・太田　悠貴・黒谷　雄司・前川　諒介（トヨタ自動車）
伊藤　喜子（兵庫県立大学大学院／ライカマイクロシステムズ）
西野　有里・宮澤　淳夫（兵庫県立大学大学院）

西日本総合展示場 AIM3階 F

【9:30～12:10】

149 ペダル操作
Pedal Operation
座長：伊藤　安海（山梨大学）

295 オルガン式ブレーキペダル操作時の足部動態変化解析
小松　新始（SOKEN）
伊藤　健悟・鈴木　玄軌（デンソー）

296 運転者の歩行機能の低下がペダル操作に及ぼす影響
加藤　由衣・平松　真知子（日産自動車）
上出　直人・安藤　雅峻（北里大学）
佐久間　壮（日産自動車）

297 認知機能が低下したドライバの運転行動および注視行動の特徴抽出
山田　章人・平松　真知子・伊藤　勇希・川野　勉・佐久間　壮（日産自動車）

298 運転行動による歩行機能および認知機能の推定手法の検討
海老名　亮彦・平松　真知子・川野　勉・佐久間　壮（日産自動車）

299 加齢によるペダル操作の変化と運転への影響（第4報）
-高齢運転者に配慮したペダル特性の有効性-
平松　真知子・海老名　亮彦・川野　勉・加藤　由衣・佐久間　壮（日産自動車）

300 ドライバのペダル踏み間違いとギア入れ間違いによる交通事故の特徴の比較
加藤　洋子・松井　靖浩・関根　道昭（自動車技術総合機構）

【13:10～15:15】

150 高齢ドライバー
Elderly Drivers
座長：志堂寺　和則（九州大学）

301 自然運転下における交通状況が安全確認行動に及ぼす影響の検討：高齢ドライバの運転診断に向けて
吉原　佑器・江　林京・Nihan Karatas・金森　等・原田　あすか（名古屋大学）
小島　基資（トヨタ自動車）
田中　貴紘（名古屋大学）

302 運転能力総合評価指標の確立に向けた動的握力解析の検討
真境名　琉馬・伊藤　安海・山田　隆一・野中　卓志・本多　歩・鍵山　善之（山梨大学）
田中　勇樹（群馬大学）
根本　哲也（山梨大学）

303 高齢ドライバの安全欲求が運転適性診断・安全運転学習プログラムへの参加に及ぼす影響
-運転寿命延伸を目指したドライバ運転特性研究（46）-
谷口　俊治・井上　愛子・梅垣　宏行（名古屋大学）
小出　直史（大阪大学）
青木　宏文（名古屋大学）

304 過大評価是正教育による高齢運転者の安全運転意識に対する効果
吉川　真由（東京大学）
吉武　宏（東京科学大学）
藤田　涼太・加藤　寛登（三菱プレシジョン）
小竹　元基（東京科学大学）

305 車両挙動を用いた認知機能低下推定手法の無制約走行条件における有用性
小川　義人・小渕　達也（トヨタ自動車）

西日本総合展示場 AIM3階 G

【9:30～11:35】

151 視認性
Visibility
座長：恩田　和征（スズキ）

306 自動運転マーカーランプの昼夜の見え方に関する屋外評価実験（第1報）
-ライン型ランプをルーフ前端に取付けた場合-
阿部　晃大・加藤　洋子・関根　道昭・青木　義郎（自動車技術総合機構）

307 自動運転マーカーランプの昼夜の見え方に関する屋外評価実験（第2報）
-マーカーランプを前照灯の近傍に取付けた場合-
関根　道昭・阿部　晃大・加藤　洋子・青木　義郎（自動車技術総合機構）

308 周辺視野に提示した二つの視覚刺激の角速度と時間間隔による大きな角度の視線誘導への影響
竹本　雅憲（成蹊大学）

309　安全色の反応時間の比較
山田　晋平（産業医科大学）

310　パターニング前照灯による歩行者の被視認性向上に関する研究
青木　義郎・加藤　洋子・関根　道昭（自動車技術総合機構）

【12:35～14:40】

152　運転シート
Driving Seat
座長：和田　隆広（奈良先端科学技術大学院大学）

311　暑熱環境下におけるファン付きカーシートによる身体部位別送風が温熱的快適性に及ぼす影響
和田　健太郎・永井　輝之（京都工芸繊維大学大学院）
北川　哲也（フォルテック）
西崎　友規子・山下　直之（京都工芸繊維大学）

312　振動と注意対象の位置対応を利用したシートによる注意喚起方法の検討（第2報）
上村　洋介（京都工芸繊維大学大学院）
北川　哲也・古舞　隆司（フォルテック）
西崎　友規子（京都工芸繊維大学）

313　自動車用シートを用いた報知振動刺激に関する基礎的検討
-周波数変化型シート振動における運転者の認知特性-
栗谷川　幸代（日本大学）
張　馨月（日本大学大学院）
小泉　秀文・寒川井　伸一・涌田　宏・中村　俊季・
阿部　圭吾・佐藤　邦生（アルプスアルパイン）

314　人の加速度知覚強度の方向特異性に着目した車酔い低減アクティブカーシートの研究
松岡　正憲・星野　純也（アドヴィックス）

315　超音波画像を用いた着座時の骨格推定
天野　真輝・村岸　裕治・服部　義和（豊田中央研究所）

西日本総合展示場 AIM3階 311-313

【9:30～11:35】

153　EV 用バッテリー
EV Battery
座長：今村　大地（日本自動車研究所）

316★　使用過程のEVを対象とした非破壊診断技術によるバッテリの状態推定
-データサンプリング方法と解析方法がSOH推定に与える影響-
小鹿　健一郎（自動車技術総合機構）
森田　朋和（東芝）
織田　俊樹（関西電力）
本多　啓三（電気安全環境研究所）

317　非破壊診断技術を用いた組電池の劣化過程における内部状態（セル容量・セルバランス）推定に基づく組電池SOHの評価
森田　朋和（東芝）
本多　啓三（電気安全環境研究所）
小鹿　健一郎（自動車技術総合機構）

318　アノードフリー全固体電池のサイクル耐久性向上に向けた取り組み（第1報）
中川　嵩・和泉　享兵・氏家　俊太郎・楠下　颯
（本田技術研究所）

319　燃料電池ハイブリッド試験電車における運行事前情報を活用した燃料電池を長寿命化する出力制御方法
米山　崇（鉄道総合技術研究所／早稲田大学）
徐　思海・許　聖恩・温　旻昊・鮑　義達・
楊　イ翔・紙屋　雄史（早稲田大学）
小川　賢一・山田　昂征・金子　真直人（鉄道総合技術研究所）

320　車両に搭載された駆動用バッテリにおける内部抵抗測定手法の評価
森　匠・寺西　望（日置電機）
高橋　利道（明電舎）

【12:35～14:40】

154　EV 開発 I
EV Development I
座長：大塩　伸太郎（日産自動車）

321　xEV走行制御の定数設計効率化に向けたシミュレーション技術開発
森川　拓哉・神長　隆史・木俣　基之・
長澤　祐也・金子　広孝（トヨタ自動車）

322　物理モデルと実験モデルを融合したHEVトランスアクスル損失推定
木俣　基之・森川　拓哉・金子　広孝（トヨタ自動車）

323　xEV走行制御内エンジン停止制御の定数設計MBD化検討
神長　隆史・森川　拓哉・金子　広孝（トヨタ自動車）

324　先読み情報を用いた電動商用車のエネルギマネジメント制御の開発
松浦　尚彦・鈴木　真弘・高山　英正（日野自動車）

325　Accelerating Powertrain Development Cycles with GenAI
Jan Nowack・Lukas Schäfers（FEV Europe）
Jin Izawa（FEV Japan）

【15:10～17:15】

155　EV 開発 II
EV Development II
座長：安島　俊幸（Astemo）

326　ラストワンマイル配送向け超低床小型BEVトラックの市場適合性検証
竹中　悠祐・植村　智史・濱井　抄太郎（日野自動車）

327　遊星歯車変速機を用いた2モータEVの空調機駆動システム
松尾　典孝（松尾技術士事務所）

328　インタラクティブマニュアルドライブの開発
勇　陽一郎・今村　達也・湯浅　亮平・
品川　亮・岩瀬　雄二（トヨタ自動車）

329★　FIのターボハイブリッドエンジンの効率は53%（計算値と実際値）（第3報）
-2021年F1最終決戦での人造ガソリン使用は石油枯渇問題解決を示唆-
藤井　修（再生可能エネルギー研究所 TRB）

330　電気自動車用クーラントにおける酸化劣化性能予測手法の開発
浅浦　慎也・久田　浩之・児玉　康朗・竹田　幹男・
鈴木　一美・野寄　裕司（トヨタ自動車）

西日本総合展示場 AIM3階 314-315

【9:30～12:10】

156　自動運転・運転支援
Automated Driving and Advanced Driver Assistance
座長：大前　学（慶應義塾大学）

331　高速道路合流シーンにおける組合せ最適化を活用した軌道計画
大矢　晃示（ミライズテクノロジーズ）
入江　喜朗（トヨタ自動車）
藤本　裕・松浦　甲汰・山本　賢伸（ミライズテクノロジーズ）
森本　知昭（トヨタ自動車）

332　GNSSが失陥する環境における自動運転の実現に向けた自己位置推定機能の開発
酒井　貴大・長谷島　範安・齋藤　哲平（日立製作所）

333　高分解能3Dモデルで構築したデジタルツイン環境を用いた遠隔操縦機能の開発
長谷島　範安・前田　健太・福田　善文・北村　毅・
山田　弘幸・田代　直之（日立製作所）

334 市街地自動運転に向けた高精度正着のための複数座標系評価関数を用いた停車位置姿勢制御技術
安藤　日出海・塩澤　裕樹・福重　孝志（日産自動車）

335 加速度を用いた窪み内のタイヤ位置予測によるスタック脱出制御の考案
原　雄治・西田　健太郎・横川　隆弘・今塩屋　佳志（トヨタ自動車）

336 自動車型牽引履帯車両における時間軸状態制御形によるトレーラの直線経路追従制御
水上　文二（信州大学大学院）
千田　有一・種村　昌也（信州大学）

【13:10～16:15】

157 通信・エレクトロニクス II - 評価技術・サイバーセキュリティ -
Communications and Electronics II -Evaluation Technology and Cyber Security-
座長：戸田　雄一郎（岡山大学）

337 ハブ直結型車両試験ベンチを用いたADAS適合試験手法の開発
平　知記・佐川　正記・末益　賢治・金子　広孝・田澤　信浩（トヨタ自動車）

338 ハブ直結型車両試験ベンチを用いたADAS評価における発進課題の要因分析
佐川　正記・平　知記・末益　賢治・金子　広孝（トヨタ自動車）

339 AVPS（Automated Valet Parking Systems）のCRC能 力評価
山崎　康広（中京大学）

340 ESAイミュニティ試験方法間の相関性について
伊藤　紳一郎・小林　敬史（自動車技術総合機構）
塚原　仁（日本品質保証機構）

341 Performance Evaluation of Advanced PAD Structure for HOD System
Seokhwan Ji（SECO KOMOS）

342 Mitigating Automotive Cybersecurity Risks in Software Containers for Software-defined Vehicles
-How Edge AI is Transforming Vehicle Threat Detection-
Ian Chu・Seiki Hara（VicOne）

343 From Emissions to Cybersecurity: Navigating Euro 7's New Compliance Landscape
-A Practical Path to Compliance through Strategic Adaptation of Existing Cybersecurity Frameworks-
Shin Li（VicOne）

学術講演会運営委員会

委員長	大門　　樹	慶應義塾大学
幹　事	栗谷川幸代	日本大学
幹　事	須藤　　晶	株式会社本田技術研究所
委　員	相澤　哲哉	明治大学
委　員	飯田　一裕	トヨタ自動車株式会社
委　員	石間　経章	群馬大学大学院
委　員	伊東　明美	東京都市大学
委　員	伊藤　大輔	関西大学
委　員	伊藤　浩永	株式会社 SUBARU
委　員	大前　　学	慶應義塾大学
委　員	加藤　　晋	国立研究開発法人産業技術総合研究所
委　員	川下　宜郎	日産自動車株式会社
委　員	木下　和人	日野自動車株式会社
委　員	佐藤大二郎	いすゞ自動車株式会社
委　員	佐藤　恭一	横浜国立大学大学院
委　員	清水　　修	東京大学
委　員	鈴木　教和	神戸大学
委　員	関根　康史	福山大学
委　員	西迫　隆志	三菱自動車工業株式会社
委　員	西本　哲也	日本大学
委　員	松浦　　賢	一般財団法人日本自動車研究所
委　員	松原　　豊	名古屋大学
委　員	森吉　泰生	千葉大学大学院
委　員	山本　研一	マツダ株式会社

（2025 年 10 月現在）

JSAE INNOVATION FAIR 2025

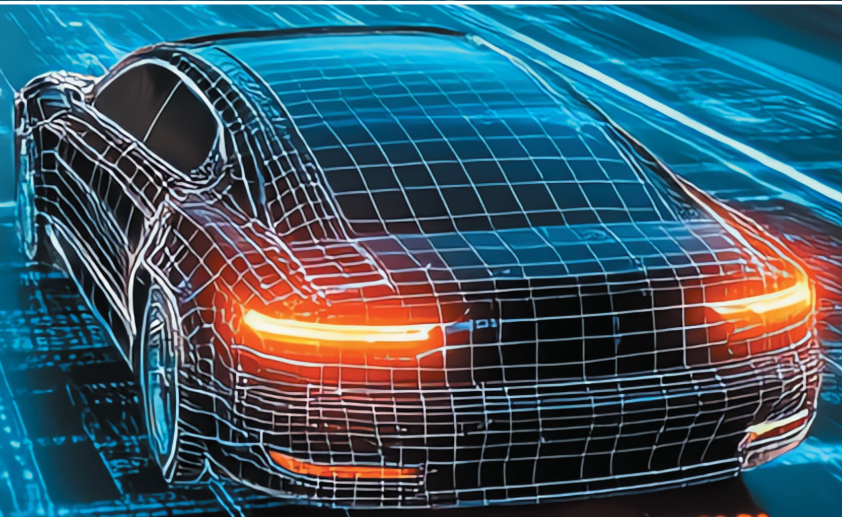
会期： 2025年10月15日（水）～17日（金）
10月15日（水）9:30～17:00
10月16日（木）～17日（金）16:00まで

会場： 西日本総合展示場新館 A展示場

～モビリティの未来地図をここ北九州から創造しよう～

出展企業・団体一覧（2025年9月24日現在）［50音順］

エースポイントシステムズ㈱
㈱大手技研
計測エンジニアリングシステム㈱
㈱構造計画研究所
コンカレント日本㈱
サンゴバン㈱
㈱ソリッドレイ研究所
㈱テック技販
東亜電気工業㈱
東洋電機製造㈱
㈱戸畑製作所
トヨタ自動車㈱
ナイラ・ダイナミクス
㈱NeU
ニュートンワークス㈱
㈱ノビテック
パーソルクロステクノロジー㈱
Virtual Motorsport Lab㈱
㈱フィジックステクノロジー
㈱フォトロン
プロメテック・ソフトウェア㈱
ベクタージャパン㈱
ヘッドアコースティクスジャパン㈱
㈱守谷商会



ランチョンセミナーのご案内

10月15日（水）11：20～12：00　プロメテック・ソフトウェア（株）
会場：西日本総合展示場AIM3F D展示場
10月17日（金）12：40～13：20　計測エンジニアリングシステム（株）
会場：西日本総合展示場AIM3F D展示場

主催　公益社団法人 自動車技術会　運営・管理：株式会社 日刊工業コミュニケーションズ

Book Store オープン

技術者を応援するフェアを開催

2025年度秋季大会期間中に，自動車技術ハンドブック他，〈自動車工学シリーズ〉，春季大会及び人とくるまのテクノロジー展名古屋で開催されたフォーラムテキストを販売します．

本会会員の方，一般の会員の方も定価の30%off（一部40%off）でご購入いただけます．

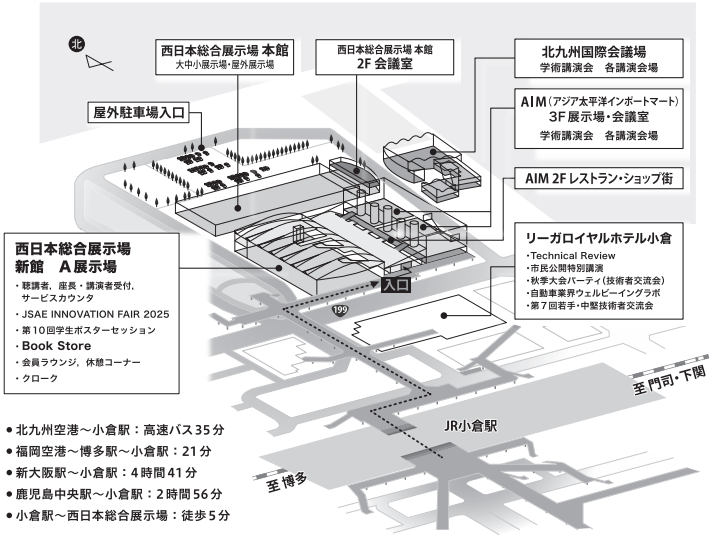
大会期間中・現地会場でのお得なフェアを開催しますので，ぜひ，会場へお越しください．

開催期間
2025年
10月15日(水)～17日(金)

開設時間
9:00 ～ 18:00（15日）
9:00 ～ 16:00（16日）
9:00 ～ 16:00（17日）

会　場
西日本総合展示場
新館　A展示場

支払方法
クレジット，
QRコード決済，
電子マネー
※現金の取扱いはいたしておりません．



- 北九州空港～小倉駅：高速バス35分
- 福岡空港～博多駅～小倉駅：21分
- 新大阪駅～小倉駅：4時間41分
- 鹿児島中央駅～小倉駅：2時間56分
- 小倉駅～西日本総合展示場：徒歩5分

販売書籍

フォーラムテキスト
YOKOHAMA

フォーラムテキスト
NAGOYA

自動車技術ハンドブック
第2分冊～第10分冊
※第1分冊は完売しました

新日英中自動車
用語辞典

電気自動車の開発

自動車の空力技術

自動車システムの
モデルベース開発入門

ロードシミュレーション
ハンドブック

2050年
自動車はこうなる

自動車開発・製作ガイド
（日英）

ドライブレコーダは見た!
Vol.1

ドライブレコーダは見た!
Vol.2

ドライブレコーダは見た!
Vol.4 歩行者・自転車編

ドライブレコーダは見た!
Vol.5 自動車・二輪車編

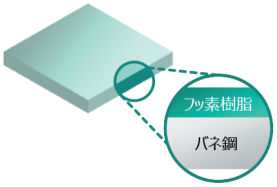
※Vol.3は完売しました

すべる・しめる・まもる　- ベアリングのエキスパート -

EQYO UNLOCKING YOUR ENGINEERING PUZZLES

我々“エキヨ”は、お客様のプロジェクトで特別な解決策が必要な時 低摩擦樹脂技術・バネ技術を活用した独創的でユニークな製品で お客様の課題克服をサポートします

プリロード × すべり軸受　SPRINGLIDE® スプリングライド



フッ素樹脂とバネ鋼の多層構造
(厚さ:250μm)

&

バリエーション豊かなばね形状

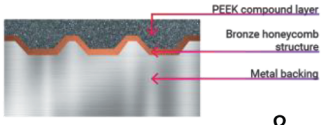
低摩擦を持続
バネ構造が、あらゆる環境下で安定したプリロードを付加

軽量・小型化
フッ素樹脂とバネ構造のハイブリッド材料が、お客様の設計上の制約を解消、新たな構造の可能性を切り拓きます

ガタつき根絶
熱膨張や摩耗、構成部品の隙間やミスアライメントを吸収
製品ライフにわたって隙間ゼロを実現します

グリス不要
安定した低摩擦力をメンテナンスフリーで実現
シンプルな製品・プロセス設計に貢献します

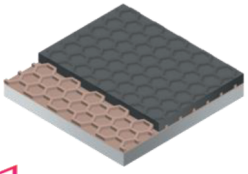
ハイスピード × 高耐摩耗　NORGLIDE® HPPRO ノルグライド



PEEKベースの低摩擦樹脂層

&

ブロンズハニカム構造



低摩擦を持続
高い耐摩耗性能は、お客様の使用期間を通じて
安定したすべり性能を提供します

寸法安定性
優れた耐荷重・耐摩耗性能が製品ライフにおける
クリアランスの変化を小さく抑えます

静粛性能を維持
クリアランス変化に伴うNVHの増加を抑えます

軽量・小型化
高い耐荷重性能は、従来の限界を超える設計を
可能にします

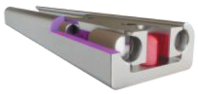
※ 展示会場にて実際のサンプルをご覧いただけます

- 主要取扱製品 -

ラジアル軸受

リニア軸受

スラスト軸受


リニアガイド

締結リング

トルクリミッタ

主なマーケット：自動車、自転車、ロボット、産業機械、住宅用設備、医療設備

10/29(水)-10/31(金) オートモーティブワールド2025 名古屋に出展します！ (会場：ポートメッセなごや, ブース番号：N1-28)

サンゴバン株式会社　EQYO

諏訪工場・長野県諏訪郡原村10801-5, 東京本社・東京都千代田区麹町3-7